



Google TV

デジタル プロジェクター 取扱説明書

ポータブルシリーズ | GV50

V 1.02

著作権と免責事項

著作権

Copyright © 2024 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

Bluetooth® マークとロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、BenQ Corporation はライセンスのもとにこれらのマークを使用しております。

iOS は米国およびその他の国における Cisco の商標または登録商標です。macOS® は米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。

Google TV は本製品のソフトウェアの名前であり、Google LLC の商標です。Google、Android、YouTube、Google Cast およびその他のマークは、Google LLC の商標です。

NETFLIX

Netflix は Netflix, Inc. の商標です。



Dolby Laboratorie からライセンスを受けて製造しています。Dolby およびダブル D 記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

本書に記載されているその他すべてのロゴ、製品、会社名は、各社の登録商標または商標であり、ここでは参照のみを目的として使用されています。

免責事項

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、BenQ コーポレーションは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても BenQ コーポレーションが通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。この取扱説明書は、最新かつ正確な情報を提供することを目的としているため、将来予告なく変更される場合があります。本書の最新版は、<http://support.benq.com> からご覧いただけます。

製品出荷時にインストールされていないソフトウェア、パーツ、および本来同梱されていないアクセサリを使用した結果、問題（データの消失またはシステムの不具合）が生じた場合は、お客様ご自身の責任となります。

保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換（工賃を含む）に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度 10% から 90% の間、温度 0° C から 40° C の間、高度 2000 メートル以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

ハイパーリンクおよびサードパーティのウェブサイトに関する宣言

BenQ は、たとえこの製品からリンクされていたとしても、サードパーティが維持管理するウェブサイトや同様のリソースの内容には一切責任を負いません。これらのウェブサイトや同様のリソースへのリンクが提供されていたとしても、明示または暗示の有無に関わらず、それらの内容について BenQ は一切の保証も責任も負いません。

この製品にあらかじめインストールされていたサードパーティのコンテンツまたはサービスは、現状のままで提供されます。BenQ は、明示または暗示の有無に関わらず、サードパーティが提供するコンテンツやサービスについて一切責任を負いません。BenQ は、サードパーティが提供するコンテンツやサービスが正確であること、効果的であること、最新の状態であること、合法または完全であることについて、いかなる責任も負いません。いかなる場合においても、BenQ はサードパーティの当事者の過失を含め、彼らが提供するコンテンツやサービスについて一切責任を負いません。

サードパーティが提供するサービスは、一時的または完全に終了する場合があります。BenQ は、サードパーティが提供するコンテンツやサービスが常に良好な状態であること、また発表したコンテンツやサービスの終了について、一切責任を負いません。

また、BenQ は、サードパーティが維持管理するコンテンツや同様のリソースでお客様との間で行われた取引については一切関与しません。ご質問、ご意見は、コンテンツまたはサービス提供会社にお問い合わせください。

BenQ ecoFACTS

BenQ has been dedicated to the design and development of greener product as part of its aspiration to realize the ideal of the "Bringing Enjoyment 'N Quality to Life" corporate vision with the ultimate goal to achieve a low-carbon society. Besides meeting international regulatory requirement and standards pertaining to environmental management, BenQ has spared no efforts in pushing our initiatives further to incorporate life cycle design in the aspects of material selection, manufacturing, packaging, transportation, using and disposal of the products. BenQ ecoFACTS label lists key eco-friendly

design highlights of each product, hoping to ensure that consumers make informed green choices at purchase.

Check out BenQ's CSR Website at <http://csr.BenQ.com/> for more details on BenQ's environmental commitments and achievements.

Product carbon footprint (PCF)

The carbon footprint of a product is the estimated carbon emission throughout its entire life cycle. The information may be available on the package or [online](#).

The carbon footprint stated for this product is the current estimate and the actual result may be subject to change due to unforeseen conditions. This means the actual product carbon footprint may be different from the declared statement.

You may not find your product's carbon footprint as it was not available at the time the product was shipped. The information should be online once it's available.



製品サポート

製品をより快適にお使いいただくために、最新のファームウェアへのアップグレード、および最新の取扱説明書の取得をお勧めします。

弊社はお客様に最新の正しい情報を提供するために、事前の通知なく随時内容を更新しております。本書およびその他の製品情報の最新版は、ウェブサイトをご覧ください。閲覧できるファイルはモデル毎に異なります。

1. お使いのコンピュータがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. Support.BenQ.com からお住まい国のウェブサイトをご覧ください。ウェブサイトのレイアウトと内容は、地域や国によって異なる場合があります。最新情報については、定期的に次の情報をご確認ください。
 - 取扱説明書と関連ドキュメント
 - ファームウェアとアプリケーション
 - よく寄せられる質問

保守

- 誤った方法で使用した場合、または事故が発生した場合は、専門のサービス担当者にお問合せください。
- サポートについては、購入元にお問い合わせいただくか、Support.BenQ.com からお住まい国のウェブサイトをご覧ください。



Support.BenQ.com

Q&A 索引

題目を選択してください。

セットアップ

プロジェクターを設定して電源を入れるには？	
設置場所の選択	27
電源を入れて初期設定を行う	33

画像調整

投写映像の焦点を調整するには？	
投写角度の調整	39
画像の明瞭さの微調整	40
投写された映像をスクリーンに合わせるには？	
台形補正	41
スクリーンに合わせる	42

使用方法

無線投写するには？	
無線投写（画面キャストイング）	52
プロジェクターを使って音楽を聴くには？	
プロジェクターを使って音楽を聴く	56

メンテナンスと製品サポート

長期間プロジェクターを使用しない場合は？	
プロジェクターの保管	66

目次

著作権と免責事項	2
著作権	2
免責事項	3
保証	3
ハイパーリンクおよびサードパーティのウェブサイトに関する宣言 ..	4
BenQ ecoFACTS	4
Product carbon footprint (PCF)	5
製品サポート	5
保守	6
Q&A 索引	7
安全指示	12
同梱物	17
紹介	18
プロジェクター概要	18
概要	18
キーパッド	20
入出力端子	21
外形寸法	22
プロジェクターの接続	23
無線接続	23
有線接続 (USB Type-A ポート)	23
有線接続 (HDMI ポート)	23
有線接続 (USB Type-C ポート)	23
リモコン	25
リモコンの作動範囲	26
リモコンでプロジェクターの電源投入を設定する	26
インストール	27
設置場所の選択	27

映像サイズの調整	29
投写サイズ	29
プロジェクターを屋外で使用する	30
高地でプロジェクターを使用するには	30
電源	31
バッテリーの充電	31
バッテリー充電の確認	32
はじめに	33
電源を入れて初期設定を行う	33
電源 LED インジケータ	34
電源設定と省電力のオプション	35
プロジェクターをシャットダウンする	36
便利な BenQ アプリにアクセスする	37
プロジェクターにダウンロードしたアプリ	37
SmartRemote for BenQ Projector アプリをモバイルデバイスに ダウンロードする	37
プロジェクターのアップデート	38
オペレーティングシステムのアップデート	38
ファームウェアアップデート	38
投写画像の調整	39
投写角度の調整	39
画像の明瞭さの微調整	40
画像を画面にフィットさせる	41
台形補正	41
スクリーンに合わせる	42
障害物を取り除く	42
投写サイズおよび位置調整（デジタルズームと画像シフト）	43
画像回転	43
天井投写	44
横投写のための調整	44

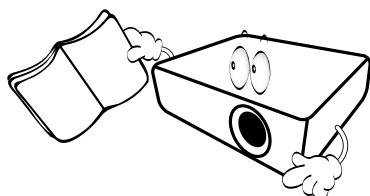
画面の輝度を調整する.....	45
スマートアイプロテクションを有効にする	46
入力源の変更	46
ストリーミングビデオを見る.....	47
Google TV ホーム画面	47
ダッシュボード	48
ビデオストリーミングに適した画像モードを選択する.....	49
壁の色に合わせて画像の色を設定する.....	50
ビデオストリーミングに適したサウンドモードを選択する	50
寝室で映画を観賞する.....	51
スリープタイマーの設定.....	51
投写	52
無線投写（画面キャスト）	52
iOS/macOS デバイスからの画面キャスト	52
Google Cast™ で Android™ OS デバイスから 画面をキャストする	53
Google Home で Android OS デバイスから画面をキャストする.....	53
Google Cast で PC デバイスから画面をキャストする	54
有線投写.....	55
プロジェクターを使って音楽を聴く	56
プロジェクターを Bluetooth スピーカーとして使用する	56
プロジェクターを外付け Bluetooth スピーカー / ヘッドフォンに 接続する.....	57
プロジェクターをワイヤレススピーカーとして使用する	57
音楽を再生中に映像を非表示（消画）にする.....	58
USB フラッシュドライブからマルチメディアファイルを再生 する	59
USB Type-C デバイスへの給電	60
USB Type-C 給電についてのご注意.....	60
メニューを見る	61
デバイス名の設定.....	61

プロジェクター	61
ディスプレイと音	64
ネットワークとインターネット	64
アカウントとログイン	64
プライバシー	65
アプリ	65
System (システム)	65
リモコンとアクセサリ	65
メンテナンス	66
プロジェクターのお手入れ	66
レンズのクリーニング	66
プロジェクターの保管	66
プロジェクターの移動	67
光源情報	67
問題を解決する	68
仕様	71
プロジェクターの仕様	71
タイミングチャート	73
ビデオ タイミング	74
対応ファイル形式	74
ビデオ	74
オーディオ	76
付録	78
三脚を使う (別売り)	78

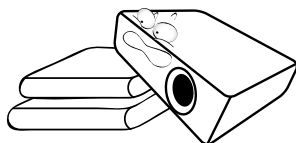
安全指示

お使いのプロジェクターは、情報テクノロジー機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本機器を安全にご使用いただくために、このガイドおよび機器のマークに記載されている指示に従ってください。

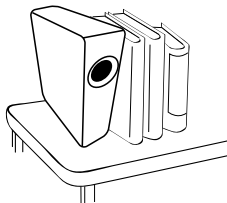
1. プロジェクターを操作する前に、この取扱説明書をお読みください。
本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。



2. 使用時は必ず機器を水平な平面上に置いてください。
 - プロジェクターを不安定なカート、スタンド、テーブルに置かないでください。プロジェクターが落ちてケガをしたり、プロジェクターが故障したりする場合があります。
 - プロジェクターの近くに可燃物を置かないでください。左右の傾きが 10 度、または前後の傾きが 15 度を超える状態で使用しないでください。

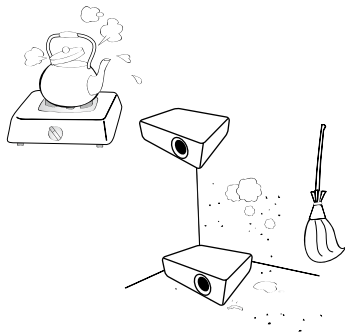


3. 機器を縦向きにしないでください。縦向きにすると、プロジェクターが倒れ、けがをしたり損傷する恐れがあります。



4. 次の場所に機器を置かないでください。
 - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクターの周辺の風通しをよくしてください。

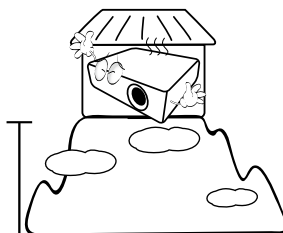
- 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
- 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクターの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



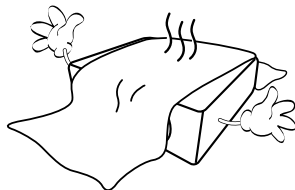
- 火災報知器に近い場所。
- 周辺温度が 40°C/104°F を超える場所。
- 高度が 2000 メートル（6562 フィート）を超える場所。

2000 メートル
(6562 フィート)

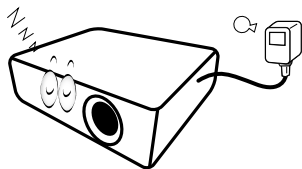
0 メートル
(0 フィート)



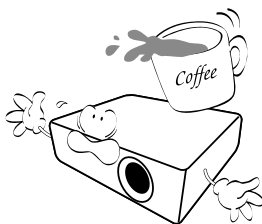
5. プロジェクター動作中に通気孔をふさがないでください（省エネモードでも同様）。
- プロジェクターの上に布などをかぶせないでください。
 - プロジェクターをブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。



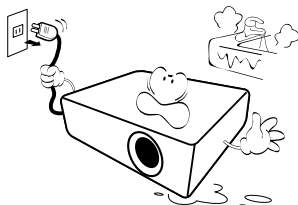
6. メインの電源電圧が ± 10 ボルト程度の変動がある場所では、プロジェクターを電源安定化機器、サージプロテクタ、あるいは UPS のいずれかに接続されるようお勧めします。



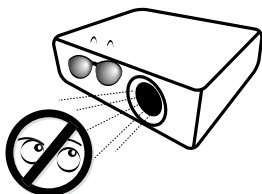
7. 機器の上に乗ったり、物を置かないでください。



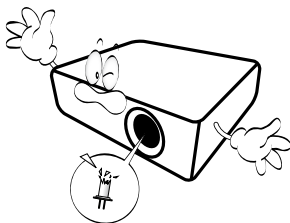
8. プロジェクターの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクター内部に液体がこぼれると、保証の対象外となります。プロジェクターを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクターを外し、BenQ にご連絡の上プロジェクターの点検をご依頼ください。



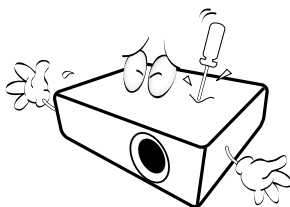
9. 動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。目を傷つける場合があります。



10. レーザーは定格寿命より長く使用しないでください。



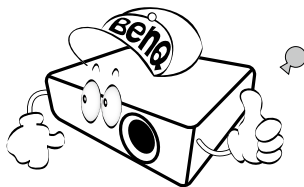
11. 本プロジェクターのキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理はサポートセンターにお問い合わせください。



警告

- 将来搬送が必要な場合に備えて、元の梱包材料は捨てずに保管しておいてください。
- 使用後にプロジェクターを梱包する必要がある場合は、搬送中に製品が破損ないように投写レンズを適切な位置に調整し、レンズをレンズクッションで保護し、さらにレンズクッションとプロジェクタークッションをぴったりとくっつけてください。

12. 点検修理については、サポートセンターにお問い合わせください。



結露

寒い場所から暑い場所へプロジェクターを移動させた後は、すぐには機器を操作しないでください。このように温度が急激に変化した状態では、重要な内部部品が結露する場合があります。プロジェクターの故障の原因となりますので、このような状態では最低でも2時間以上経過してから機器を使用してください。

揮発性液体の使用の禁止

殺虫剤やある種のクリーナーなどの揮発性液体を機器の近くで使用しないでください。ゴムやプラスチック製品などを長時間機器に触れたままの状態では置しないでください。機器に痕が残ってしまいます。化学薬品を染み込ませた布で機器を拭く場合は、本書に記載される安全のための指示にしたがってください。

廃棄

本プロジェクターには人体や環境に有害な素材が使用されています。

- ・ リード（はんだに使用されています）

製品を廃棄する方法については、各自治体の回収規則にしたがってください。

注意

- ・ 本書に掲載される画像は参照用です。
- ・ 地域によって実際の内容は異なる場合があります。

同梱物

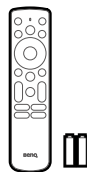
丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。本製品を購入された地域によっては、同梱されていないアクセサリもあります。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。



プロジェクター



台座



リモコン
(単 4 電池 2 個)



電源アダプタ



電源コード
(地域により異なります)



ユーザードキュメント

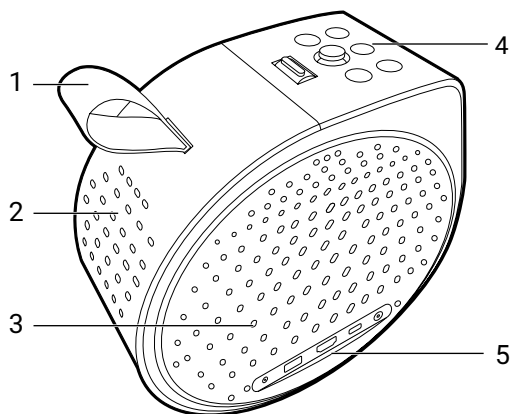
注意

- 製品の機能と仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。
- 一部のアクセサリは、国によって異なる場合があります。
- 詳しくは販売店にお問合せください。または、ホームページ上で保証書をご確認ください。
- 互換性を保証するために、正規品のアクセサリをお使いください。
- 電源コードのプラグタイプは、お住まい地域の要件によって変わる場合があります。

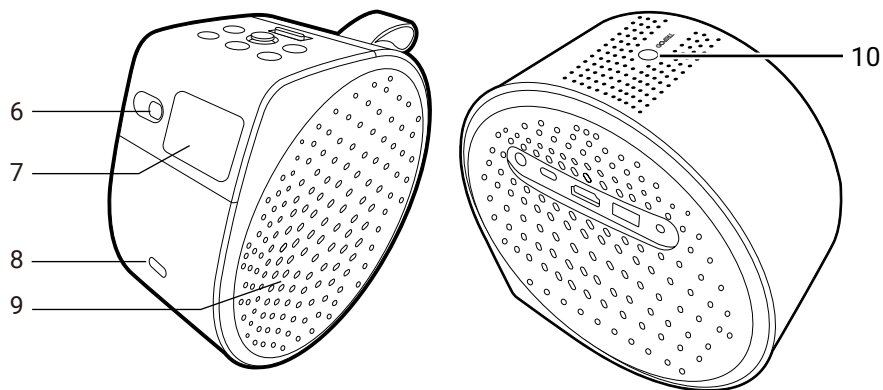
紹介

プロジェクター概要

概要

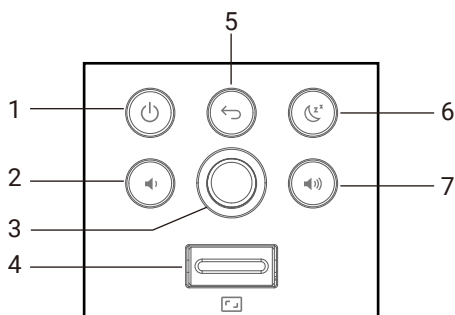


番号	説明
1.	ストラップ
2.	上スピーカー
3.	右スピーカーと通気口
4.	キーパッド 詳細は、20 ページの「キーパッド」を参照してください。
5.	入出力端子 ・ 詳細は、21 ページの「入出力端子」を参照してください。 ・ 詳細は、23 ページの「プロジェクターの接続」を参照してください。




番号	説明
6.	赤外線リモートセンサーと Time of Flight (ToF) センサー
7.	投写レンズ
8.	オートフォーカス用カメラ
9.	左スピーカーと通気
10.	三脚ネジ穴 詳細は、78 ページの「三脚を使う（別売り）」を参照してください。

キーパッド

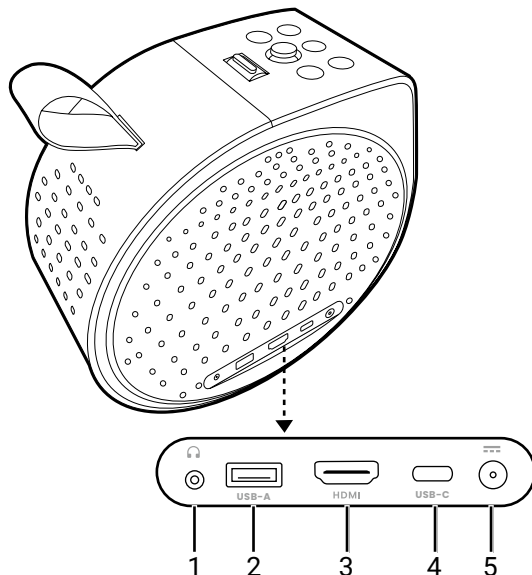


番号	説明
1.	電源キー
2.	音量を下げるボタン
3.	ジョイスティック
4.	デジタルズームレバー 詳細は、 43 ページ の「 投写サイズおよび位置調整（デジタルズームと画像シフト） 」を参照してください。
5.	戻るキー
6.	スリープタイマー キー 詳細は、 51 ページ の「 スリープタイマーの設定 」を参照してください。
7.	音量を上げる

注意

キーパッドのバックライトはデフォルトでは常にオンの状態になっています。キーパッドのバックライトをオフにするには、 > **All settings（すべての設定）** > **プロジェクター** > **詳細設定** > **詳細** > **キーパッドのバックライトを常にオン**を選択します。

入出力端子



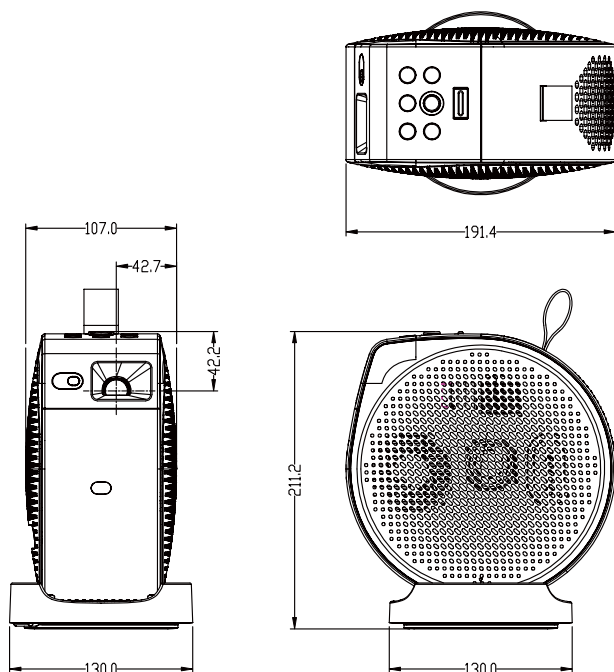
番号	説明
1.	3.5mm オーディオ出力ジャック
2.	USB Type-A ポート 詳細は、次の情報をご覧ください。 <ul style="list-style-type: none">・ 38 ページの「ファームウェアアップデート」・ 59 ページの「USB フラッシュドライブからマルチメディアファイルを再生する」・ 電源。71 ページの「仕様」を参照してください。
3.	HDMI ポート (バージョン 2.0b) 詳細は、23 ページの「有線接続 (HDMI ポート)」を参照してください。

番号	説明
4.	USB Type-C ポート 詳細は、次の情報をご覧ください。 <ul style="list-style-type: none"> • 31 ページの「電源」 • 55 ページの「有線投写」 • 59 ページの「USB フラッシュドライブからマルチメディアファイルを再生する」 • 60 ページの「USB Type-C デバイスへの給電」
5.	電源アダプタポート

外形寸法

台座を含まない：107.0（横） x 193.3（高さ） x 191.4（長さ） mm
 （4.21 x 7.54 x 7.61 インチ）

台座を含む：130.0（横） x 211.2（高さ） x 191.4（長さ） mm
 （5.12 x 8.31 x 7.54 インチ）



プロジェクターの接続

プロジェクターをデバイスと接続して動画を投写するには、さまざまな方法があります。

無線接続

- スマートフォン、タブレット、ノートパソコン/PC（詳細は、[52 ページの「無線投写（画面キャスト）」](#)をお読みください）
- Bluetooth デバイス（スピーカー、ヘッドフォン、マウス等）

無線接続を実行する前に、プロジェクターは接続しようとしている無線アクセスポイントの範囲に設置してください。

有線接続（USB Type-A ポート）

- USB Type-A フラッシュドライブ（詳細は、[59 ページの「USB フラッシュドライブからマルチメディアファイルを再生する」](#)をお読みください）

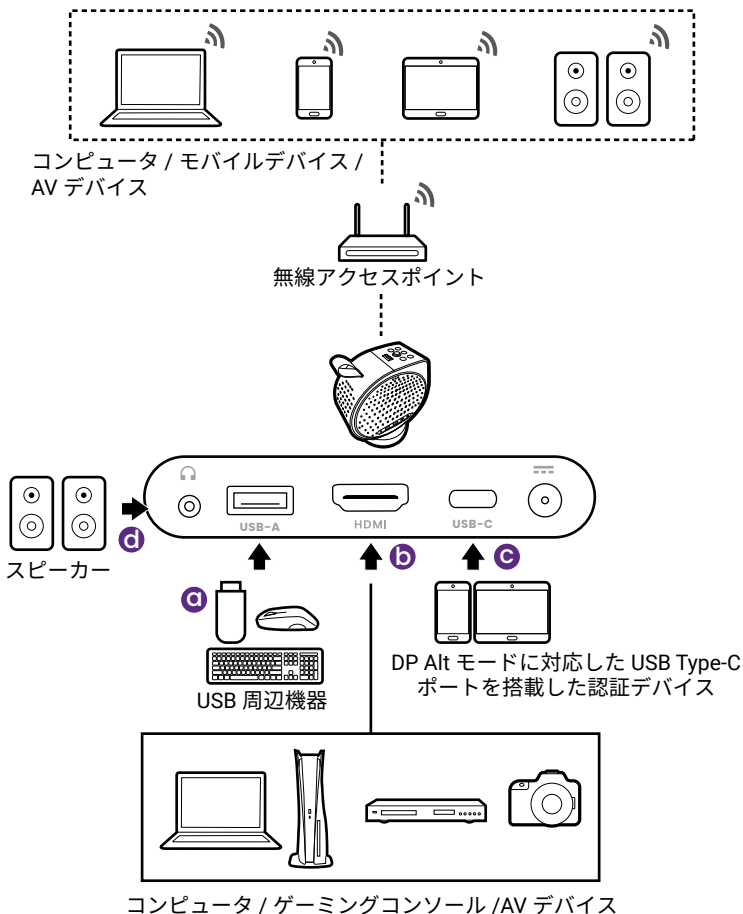
有線接続（HDMI ポート）

- A/V デバイス
- スマートフォン、タブレット、ノートパソコン/PC

有線接続（USB Type-C ポート）

- スマートフォン、タブレット、ノートパソコン/PC（詳細は、[55 ページの「有線投写」](#)をお読みください）
- モバイルバッテリー（詳細は、[31 ページの「電源」](#)および [60 ページの「USB Type-C デバイスへの給電」](#)をお読みください）
- USB Type-C フラッシュドライブ（詳細は、[59 ページの「USB フラッシュドライブからマルチメディアファイルを再生する」](#)をお読みください）

有線接続を行う前に、各ソースに適した機能を備えたケーブル（DP 代替モードや給電など）を使用し、しっかりと接続されていることを確認してください。USB-IF 認証の USB Type-C ケーブル/デバイスで接続すると互換性が高まります。



番号 説明

- a. メディアリーダーおよび周辺機器用の USB フラッシュドライブ
- b. HDMI ケーブル

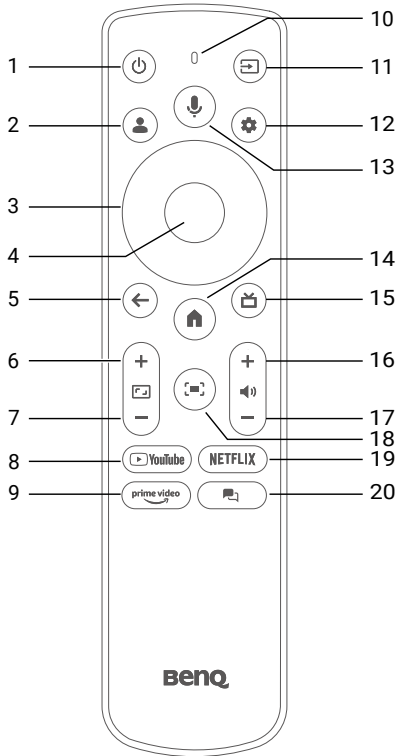
番号 説明

- c. DP Alt モードに対応した USB Type-C ケーブル
- d. オーディオケーブル

注意

- 上に示す接続図のケーブルは、プロジェクターに付属していません（詳細は、17 ページの「同梱物」を参照してください。）ケーブルはお近くのショップでお求めください。
- 接続図は参照用です。
- 正しいビデオ入力を選択されているにもかかわらず、電源をオンにしても選択したビデオ映像が表示されない場合は、ビデオ入力の電源がオンになっていて正しく動作しているかどうかを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることも確認してください。
- オーディオ出力ジャックに接続すると内蔵スピーカーは無音になります。

リモコン



番号	説明
1.	電源
2.	プロフィール
3.	矢印キー
4.	OK
5.	← 戻る
6.	デジタルズームイン
7.	デジタルズームアウト

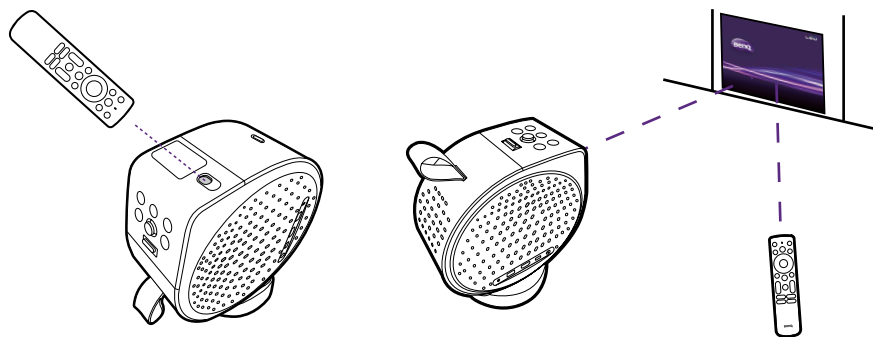
番号	説明
8.	YouTube YouTube
9.	Prime Video Prime Video
10.	マイク
11.	入力
12.	ダッシュボード
13.	音声検索
14.	Google TV ホーム画面
15.	HDMI 入力源
16.	音量を上げる
17.	音量を下げる
18.	スクリーン調整
19.	NETFLIX Netflix
20.	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクター補助 オーディオのみモード (詳細は 58 ページを参照してください)

ヒント

リモコンの代わりとして、**SmartRemote for BenQ Projector** アプリが提供されています。モバイルデバイスにこのアプリをインストールして、新しいリモコンとしてお使いください。詳細は、37 ページの「[便利な BenQ アプリにアクセスする](#)」を参照してください。

リモコンの作動範囲

プロジェクターの赤外線センサーは本体の正面にあり、左右に 30 度、上下に 20 度の角度で最大 8 メートル（～26 フィート）まで有効範囲です。セットアップウィザードでリモコンをペアリングする前は（33 ページの「電源を入れて初期設定を行う」を参照してください。）、リモコンは赤外線センサーに直接照射するか、壁 / スクリーンに赤外線信号を反射させることでしか使用できません。リモコンとプロジェクターの赤外線センサーの間に物が無いことを確認してください。



リモコンをプロジェクターにペアリングすると、8 メートル（26 フィート）以内であればどのような角度でもリモコンを使用することができます。

注意

リモコンの音声検索機能は、リモコンとプロジェクターをペアリングしなければご使用いただけません。詳細は、33 ページの「電源を入れて初期設定を行う」を参照してください。

リモコンでプロジェクターの電源投入を設定する

リモコンからのプロジェクターの電源投入は、デフォルトでは有効ではありません。これを有効にするには、**⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > 詳細設定 > リモコン > リモコンで電源オン**を押します。有効にすると、プロジェクターの電源がオフのときにリモコン信号をスキャンするため、徐々にバッテリーを消耗することがあります。

インストール

設置場所の選択

プロジェクターの設置場所を決める際は、次のことに配慮してください：

- ・ スクリーンのサイズと位置
- ・ コンセントの位置
- ・ プロジェクターとその他のデバイスの間の位置と距離
- ・ プロジェクターとワイヤレス アクセスポイントの間の位置と距離

このプロジェクターは、**⚙️ > All settings (すべての設定) >**

プロジェクター > 詳細設定 > プロジェクションモードを選択して、次の方法で設置できます。

・ 自動

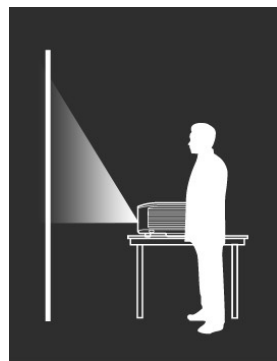
前面および**前面天井**のどちらかを選択すると、プロジェクターが上下逆さにインストールされているかどうかを検出し、シナリオを使って（正常または逆さま）自動的に投写モードが変わります。

投写位置に応じて、オーディオチャンネルも入れ替わります。

・ 前面

プロジェクターをスクリーンの正面に床面近くに設置します。

これが最も一般的な設定です。

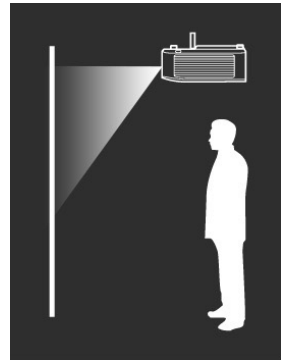


・ 前面天井

プロジェクターをスクリーン正面の天井近くに昇降させます。
投写位置に応じて、オーディオチャンネルも入れ替わります。

注意

プロジェクターには、天井取り付け用コンポーネント / 装備はありません。天井に取り付けたい場合は、高い位置や棚（別売り）にプロジェクターを設置する必要があります。棚がプロジェクターの重量を支えられる強度があることを確認してください。プロジェクターが落下しないように、棚をしっかりと固定してください。

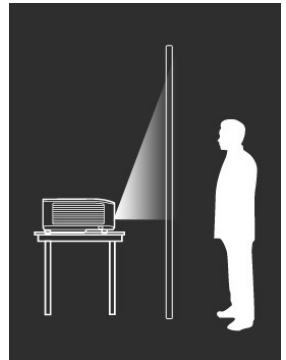


・ 背面

プロジェクターをスクリーン背面、床面近くに設置します。
投写位置に応じて、オーディオチャンネルも入れ替わります。

注意

背面投写専用のスクリーンが必要です。

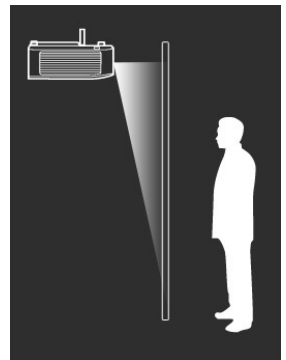


・ 背面天井

プロジェクターをスクリーン後方の天井近くまで上げます。

注意

- ・ 背面投写専用のスクリーンが必要です。
- ・ プロジェクターには、天井取り付け用コンポーネント / 装備はありません。天井に取り付けたい場合は、高い位置や棚（別売り）にプロジェクターを設置する必要があります。棚がプロジェクターの重量を支えられる強度があることを確認してください。プロジェクターが落下しないように、棚をしっかりと固定してください。

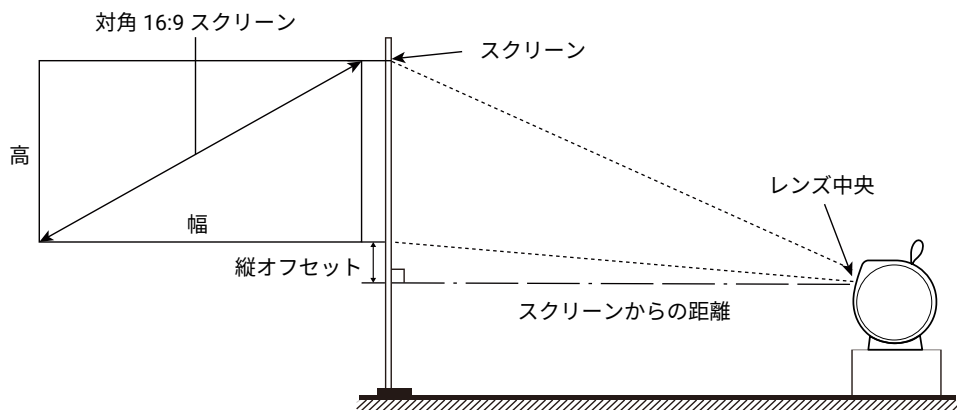


映像サイズの調整

投写距離、ズーム設定、ビデオフォーマットにより投写画面サイズは変わります。

投写サイズ

スクリーンのアスペクト比は 16:9、投写画像のアスペクト比は 16:9 です。



スクリーンサイズ		幅 (mm)	高 (mm)	スクリーンからの距離 (mm)
インチ	mm			
30	762	664	374	797
40	1016	886	498	1063
50	1270	1107	623	1328
60	1524	1328	747	1594
70	1778	1550	872	1860
80	2032	1771	996	2125
90	2286	1992	1121	2391
100	2540	2214	1245	2657
110	2794	2435	1370	2922
120	3048	2657	1494	3188

たとえば、100 インチのスクリーンを使用する場合は、推奨する投写距離は 2657 mm となります。

測定した投写距離が 2391 mm の場合は、投写スクリーンサイズは 90 インチになります。

注意

- 測定値はすべておよその値であり、実際のサイズにより変わります。
- プロジェクターを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクターを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお勧めします。このように準備しておくことによって、プロジェクターを最適な位置に固定することができます。

プロジェクターを屋外で使用する

プロジェクターは主に室内で使用することを目的として設計されていますが、時々屋外で使用できるように携帯可能な設計になっています。屋外で使用する場合は、次の項目を行うことでプロジェクターでの鑑賞体験をよりお楽しみいただけます。

- 平坦な面がないときには、三脚にプロジェクターを設置してください。詳細は、78 ページの「三脚を使う（別売り）」を参照してください。
- 画像モードを最も適した設定に設定します（**Night Shift** 以外）。詳細は、49 ページの「ビデオストリーミングに適した画像モードを選択する」を参照してください。

高地でプロジェクターを使用するには

海拔 1500 m ~ 2000 m、気温 0°C ~ 30°C の環境で本製品を使用する場合は、**高地モード**を使用されるようお勧めします。

高地モードでの操作は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。

上記の場合を除き、それ以外の極限環境でプロジェクターを使用すると、プロジェクターが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクターを過熱から保護するために施された機能です。

このような場合は、**高地モード**に切り替えてこのような現象を解決してみてください。

⚙️ > **All settings（すべての設定）** > **プロジェクター** > **詳細設定** > **詳細** > **高地モード**を選択します。

ただし、これはこのプロジェクターが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。

電源

プロジェクターには、次のいずれかの方法で電力を供給できます。

- (推奨) 付属の電源アダプタと電源コードを使う。
- USB-IF 認証のパワーバンク / 電源アダプタ / USB Type-C 給電機能付き USB Type-C ケーブルを使用することで、45W (20V-2.25A) 以上を提供します。詳細は、[71 ページの「仕様」](#) および [31 ページの「バッテリーの充電」](#) に記載されている PD をご覧ください。
- 充電が完了した内蔵バッテリーを使う。

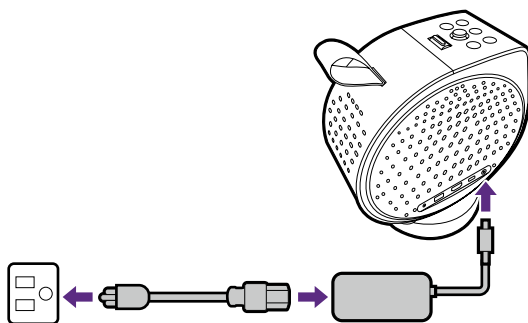
デフォルトのスクリーンの輝度は、給電方法により変わります。[45 ページの「画面の輝度を調整する」](#)の手順に従って手動で調整することができます。

注意

- USB Type-C ポートからは接続したデバイスに給電できます。詳細は、[60 ページの「USB Type-C デバイスへの給電」](#)を参照してください。
- USB Type-A ポートからは接続したデバイスに給電できます。[71 ページの「仕様」](#)を参照してください。
- 感電や火災などの危険を防止するために、付属の電源コードを使用してください。

バッテリーの充電

1. 適切なプラグが正しく組み立てられているかを確認した後、アダプタを電源アダプタポートに接続します。
2. 電源コードをコンセントに挿入します。



充電状況に応じて電源 LED インジケータが点灯します。完全に充電されるとインジケータが緑色に点灯します (LED の動作についての詳細は、[34 ページの「電源 LED インジケータ」](#)を参照してください)。初めてご使用になる前に、約 3 時間かかります。

充電中にプロジェクターを使用すると、充電に長く時間がかかります。プロジェクターは涼しく、通気の良い場所に保管し、電源 LED インジケータが緑色に点灯するまで充電してください。電源が切った状態か、ネットワーク化されたスタンバイモードになっているときに、プロジェクターを充電するよう促された場合は、画面の指示に従ってください。プロジェクターが完全に充電された状態でのバッテリー時間は、メディアコンテンツと設定により変わります。

電源	プロジェクター操作	電源オフまたはネットワーク化されたスタンバイモードでの充電	操作と充電を同時に行う
付属の電源アダプタ	あり	あり	あり
45W (20V-2.25A) から 65W (20V-3.25A) までの USB Type-C 給電	あり	あり	なし
65W (20V-3.25A) 以上の USB Type-C 給電	あり	あり	あり






注意

デフォルトのスクリーンの輝度は、給電方法により変わります。45 ページの「画面の輝度を調整する」の手順に従って手動で調整することができます。

バッテリー充電の確認

現在のバッテリー残量を確認するには、**⚙️ > バッテリー**を選択します。

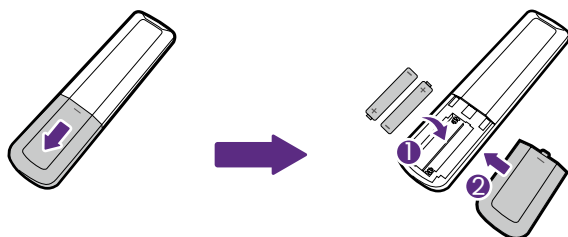


-  0% ~ 20%
-  21% ~ 39%
-  40% ~ 59%
-  60% ~ 79%
-  80% ~ 100%

はじめに

電源を入れて初期設定を行う


1. 27 ページの「設置場所の選択」の説明にしたがって、好きな位置と画像サイズを選択します。
2. リモコンに電池を挿入します。

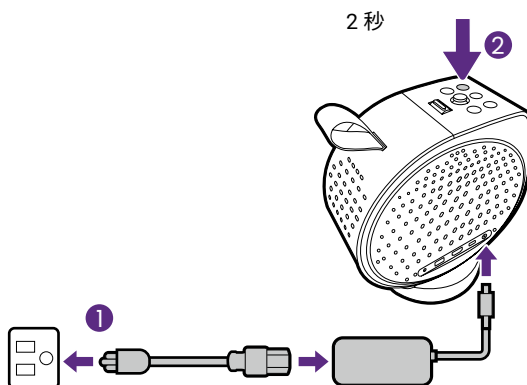


注意


リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。

3. プロジェクターの電源を入れます。初めてプロジェクターをご使用になるときは、電源 LED ライトが緑色に点灯するまでバッテリーを充電するか、電源をプロジェクターに接続します。詳細は、31 ページの「バッテリーの充電」を参照してください。

プロジェクターの電源ボタン  を 2 秒以上長押しします。電源 LED が白くゆっくりと点滅します。



注意

- ・付属の電源アダプタを使ってプロジェクターに直接給電する場合は、感電や火災などの危険防止のために付属の電源ケーブルを使用してください。
 - ・リモコンとプロジェクターをペアリングする前に、お使いのリモコンがプロジェクターの赤外線センサーの感知範囲内にあることを確認してください。詳細は、[26 ページの「リモコンの作動範囲」](#)を参照してください。
 - ・リモコンからの電源投入は、デフォルトでは有効ではありません。これを有効にするには、 > **All settings (すべての設定)** > **プロジェクター** > **詳細設定** > **リモコン** > **リモコンで電源オン**を選択します。
 - ・セットアップウィザードの手順が完了していなかったり、プロジェクターのバッテリー容量が 5% 以下の場合、リモコンから電源を入れることはできません。
4. 画面の指示に従って初期設定を完了します。指示されたときに、**Google TV の設定**を選択します。これは、Google TV の全機能を使用するためのものです。
 5. 次のステップで、画面の下部分にある **Set up on TV instead (代わりに TV を設定)** を選択して Google TV にアクセスします。
 6. 最新のファームウェアがリリースされているか確認してください。[38 ページの「プロジェクターのアップデート」](#)を参照してください。
 7. シナリオを選択してください。
 - ・ [47 ページの「ストリーミングビデオを見る」](#)
 - ・ [52 ページの「投写」](#)
 - ・ [56 ページの「プロジェクターを使って音楽を聴く」](#)


電源 LED インジケータ

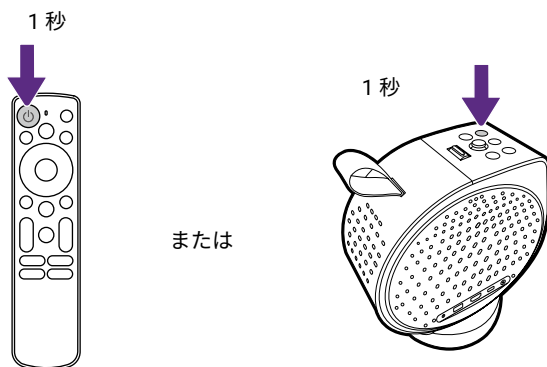
シナリオ	LED の状態	電源状態
電源オン / オフ	白く点滅	正しくオン / オフにします
	赤く点滅	バッテリーの残量が少ない (5% 以下)
アダプタで充電 <ul style="list-style-type: none">・ 電源オン：点灯・ ネットワーク化されたスタンバイ / オーディオのみ：ゆっくり点滅	緑色に点灯 / ゆっくり点滅	充電完了
	赤く点灯 / ゆっくり点滅	充電中
バッテリーモード <ul style="list-style-type: none">・ 電源オン：点灯・ ネットワーク化されたスタンバイ / オーディオのみ：ゆっくり点滅	緑色に点灯 / ゆっくり点滅	バッテリー容量： 60% - 100%
	オレンジ色に点灯 / ゆっくり点滅	バッテリー容量： 21% - 59%
	赤く点灯 / ゆっくり点滅	バッテリー容量： < 20%

電源設定と省電力のオプション

節電のために、プロジェクターはデフォルトで自動的に電源が切れます。

無作動の時間	デフォルト値
15分	プロジェクターはネットワーク化された状態でスタンバイモードになります。
240分	プロジェクターの電源が入っていません。

ネットワーク化されたスタンバイモードを手動で有効にするには、リモコン/プロジェクターの電源キー  を1秒押します。





⚙️ > All settings (すべての設定) > System (システム) > リモコンとアクセサリ > リモコンとアクセサリ > 使用していないときにテレビを自動的に OFF にするからネットワーク化されたスタンバイ設定を変更できます。この設定ではプロジェクターの電源はオフになりません。その他の電源メニューをナビゲートするには、**⚙️ > All settings (すべての設定) > System (システム) > リモコンとアクセサリ**を選択します。ご使用になる環境に応じて設定してください。電源から選択できる、役に立ついくつかの設定があります。

項目	説明
スリープタイマー	一定時間が経過した後、プロジェクターが自動的にオフになるように設定します。詳細は、 51 ページの「スリープタイマーの設定」 を参照してください。
画像 OFF	光源をオフにします。再度光源をオンにするには、どのキーでもオンにすることができます。


項目	説明
スイッチ Off タイマー	一定時間が経過した後、プロジェクターが自動的に電源オフになるように設定します。
自動スリープ	無作動状態が一定時間が経過した後、プロジェクターが自動的にオフになるように設定します。

注意

ネットワーク化された長すぎるスタンバイ時間からバッテリーを保護するために、プロジェクターは4時間無作動状態が経過した後はデフォルトで電源が切れます。スタンバイ時間を延長するには、次の手順にしたがってください。

1.  > All settings (すべての設定) > System (システム) > リモコンとアクセサリ > リモコンとアクセサリ > 使用していないときにテレビを自動的に OFF にするを開き、Never (常に使用しない) を選択します。
2.  > All settings (すべての設定) > System (システム) > リモコンとアクセサリ > 電源 > 自動スリープを開き、4時間以上を選択します。

プロジェクターをシャットダウンする

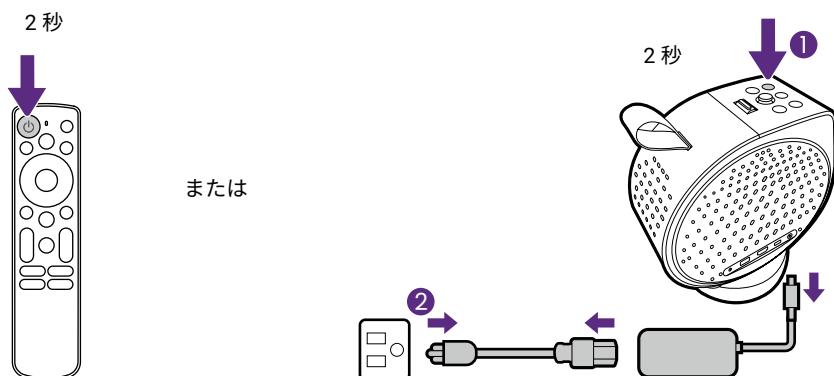
リモコン/プロジェクターの電源キー  を2秒間押したままにすると、プロジェクターはそのままシャットダウンします。

電源 LED が白く点滅します。システムを冷却するためにファンは作動を続けます。

長期間プロジェクターをご使用にならない場合は、電源ケーブルを抜いておいてください。また、リモコンから電池を抜いておいてください。

注意

プロジェクターを自動的にネットワーク化されたスタンバイモードに切り替えるには、先に自動スリープを設定します。詳細は、[35 ページの「電源設定と省電力のオプション」](#)を参照してください。



便利な BenQ アプリにアクセスする

プロジェクターの機能性を高めるために、特定の BenQ アプリをインストールすることができます。

プロジェクターにダウンロードしたアプリ

- **BenQ Projector Assistant**：ヒント、FAQ、製品サポートが用意されています。
- **Screen Sharing for iOS**：iOS/masOS デバイスからワイヤレスでコンテンツをキャストできます。詳細は、[52 ページの「iOS/macOS デバイスからの画面キャスト」](#)を参照してください。

プロジェクターにアプリをインストールするには、ホーム画面のトップにある**アプリタブ**を選択し、アプリを探します。

SmartRemote for BenQ Projector アプリをモバイルデバイスにダウンロードする

SmartRemote for BenQ Projector：基本機能（音量、方向キーを動かす、フォーカスなど）、ストリーミングサービス用のホットキーの詳しい設定、テキスト入力、タッチパッドを操作するためにモバイルデバイスとプロジェクターをペアリングして、よりスマートで便利に使用できるようにします。




プロジェクターのアップデート

ユーザーエクスペリエンスを向上させるために、プロジェクターを最新バージョンのファームウェアに更新することをお勧めします。

オペレーティングシステムのアップデート

プロジェクターのオペレーティングシステムにアップデートがある場合は、Google TV ホーム画面に通知が表示されます。画面の指示に従ってアップデートを完了します。通知は、プロジェクターが無線ネットワークに接続されている場合にのみホーム画面に表示されます。

または、 > **All settings (すべての設定)** > **デバイス情報** > **システムアップデート**を選択して手動でアップデートを確認することもできます。

ファームウェアアップデート

USB フラッシュデバイスが必要な場合は、FAT32 ディスクフォーマットの USB Type-A コネクタをお使いください。

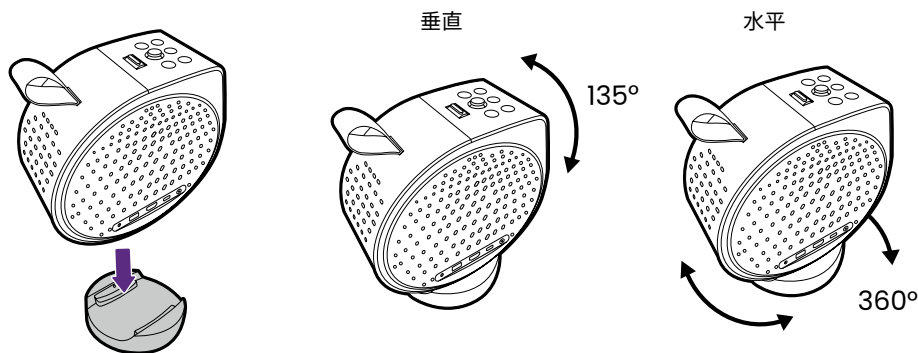
1. [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) にアクセスし、プロジェクターの新しいファームウェアファイルをダウンロードしてください（リリースされている場合）。アップグレードの手順は、ハードウェアのコンポーネントにより異なります。アップグレードのお知らせから更新内容と手順を確認することができます。参考までに最新のプロジェクターの取扱説明書もダウンロードしておくといでしょう。
2. 電源アダプタでプロジェクターに安定した電力を供給してください。プロジェクターの電源はオフにしないでください。
3. 高度なファームウェアのアップデート方法は変わります。詳しくは、ファームウェアの更新のお知らせをお読みください。

投写画像の調整

投写角度の調整

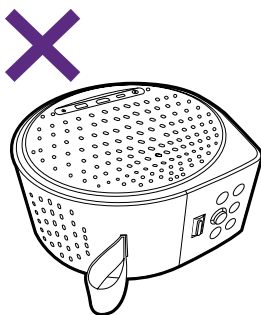
プロジェクターには本体をしっかりと固定するための台座が装着されているため、投写角度を調整することができます。

カチッと音がするまでプロジェクターを台座上にしっかりと設置し、投写角度を調整するにはプロジェクターを回転させてください。




注意

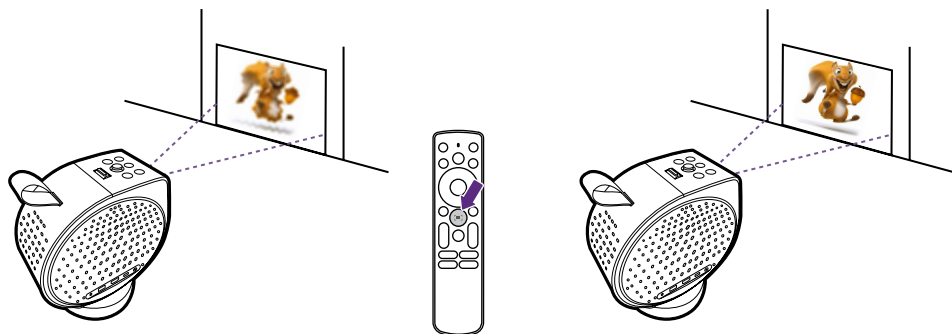
プロジェクターの電源が入っているときには、左右いずれかの通気口が下向きになるような状態に置かないでください。通気が妨げられる可能性があります。



画像の明瞭さの微調整

画像を明瞭に表示するには、フォーカスを調整します。

- ・ **リアルタイムのフォーカス調整と台形補正**：本プロジェクターは、デフォルトにより起動時にフォーカス調整と台形補正を自動的にを行います。プロジェクターを動かしたときにも、この機能が自動的に作動します。自動フォーカス設定を確認 / 変更するには、**⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > フォーカス > 詳細**を選択します。プロジェクターのレンズからスクリーンまでの有効距離は、最長 0.8 ~ 3.2 メートルです。
- ・ **ワンクリックスクリーン調整**：リモコンの  ボタンを押すと、プロジェクターが画像をオートフォーカスして台形補正を調整します。完璧に補正できるように、画面にキーストーンパターンが表示されます。



- ・ **手動フォーカス**：**⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > フォーカス > 手動フォーカス**を選択します。上 / 下を押して調整を行います。フォーカスが完了したら、**←**を押して終了します。

注意

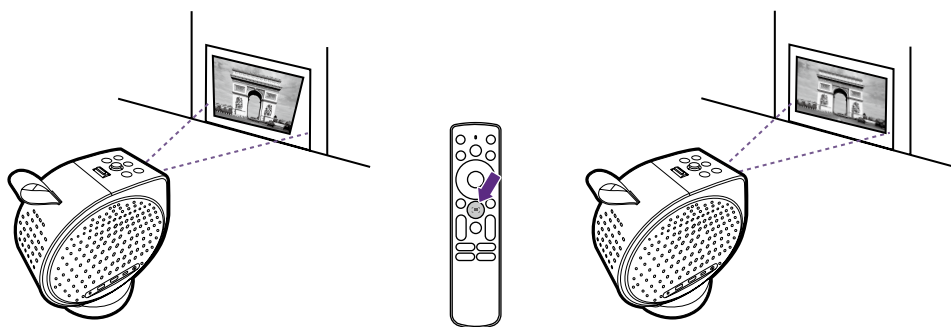
デフォルトにより、画像フォーカス調整を行うためにフォーカスパターンが表示されます。動画再生中に正しくフォーカスが調整されるように、フォーカスパターンを表示するようお勧めします。調整中にパターンを表示したくない場合は、**⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > フォーカス > 詳細 > パンフォーカス常時動作**から手動でパターンを無効にできます。

画像を画面にフィットさせる

台形補正

キーストーンとは、投写画像の上部 / 下部 / 右側 / 左側のいずれかが明らかに長くなってしまふ状態のことです。プロジェクターのレンズ面がスクリーンに対して並行でないときに生じます。プロジェクターを動かすと、スクリーンが自動的に台形補正を行います。完璧に補正できるように、画面にキーストーンパターンが表示されます。

- ・ **リアルタイムのフォーカス調整と台形補正**：これを有効にすると、起動時にフォーカス調整と台形補正を自動的に行います。プロジェクターを動かしたときにも、この機能が自動的に作動します。自動台形補正設定を確認 / 変更するには、**⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > 画像補正 > 詳細**を選択します。自動台形補正の有効範囲は次のとおりです：
 - ・ 垂直：± 20 度
 - ・ 水平：± 30 度
 - ・ 回転：± 30 度
 - ・ レンズから壁までの距離：2メートル



- ・ **ワンクリックスクリーン調整**：リモコンの **[Keystone]** ボタンを押すと、プロジェクターが画像をオートフォーカスして台形補正を調整します。完璧に補正できるように、画面にキーストーンパターンが表示されます。
- ・ **手動キーストーン**：**⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > 画像補正 > 手動台形補正**を選択します。画面の指示に従って調整してください。調整が完了したら、**←** を押して変更内容を保存し、前のメニューに戻ります。

注意

台形補正の方法は投写距離により異なり、それにより表示されたパターンも変わります。ただし、これにより補正結果が変わることはありません。

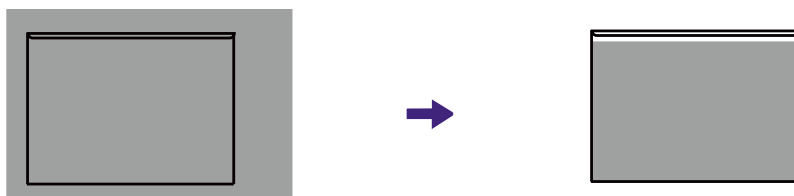
スクリーンに合わせる

プロジェクターが中心からずれて設置された場合、映像が歪みスクリーンからはみ出ることがあります。スクリーンに合わせる機能を使うことで、画面の4つの枠に合わせて画像を調整することで、画面に適切にフィットさせることができます。スクリーンに合わせる機能は、すべてのスクリーンの端がフォーカス/台形補正カメラによって検出された場合にのみ機能します。

1. 投写映像がスクリーン全体に表示され、スクリーンよりも大きいことを確認してください。
2. 自動台形補正機能が **⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > 画像補正 > 詳細 > 移動後の自動台形補正** から有効になっていることを確認してください。
3. **⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > 画像補正 > 自動スクリーンフィット** を選択します。
4. 画面の指示に従って処理に従ってください。完璧に補正できるように、画面にキーストーンパターンが表示されます。投写映像は自動的にスクリーンに合わされます。

ヒント

この機能を自動的に実行するには、**⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > 画像補正 > 詳細 > 自動的に画面に合わせる** を選択します。スイッチをオンにします。

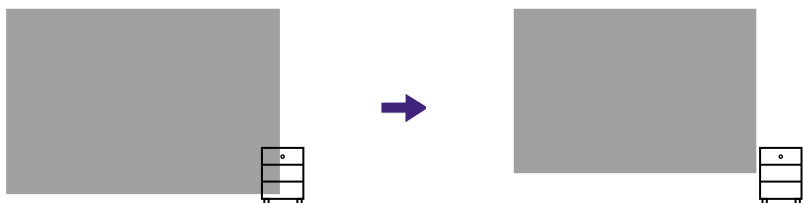


障害物を取り除く

プロジェクターが画面の陰になるものを検知し、それを避けるように投写画像を自動的にリサイズする機能です。

1. 自動台形補正機能が **⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > 画像補正 > 詳細 > 移動後の自動台形補正** から有効になっていることを確認してください。

2. **⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > 画像補正 > 詳細 > 障害物回避**を選択します。対象物が画面に写り込まないように、画面が自動的にリサイズされます。完璧に補正できるように、画面にキーストーンパターンが完全に表示されます。



注意

自動的に画面に合わせると障害物回避機能は同時に使用することはできません。補正結果は障害物回避を基にしています。

投写サイズおよび位置調整（デジタルズームと画像シフト）

デジタルズームと位置調整機能を使用すると、簡単に投写画像をリサイズしたり、シフトさせたりしてスペースに合わせることができます。

1. 小さいスペースに合わせて画像をリサイズするには、デジタルズームレバー **⏏** を動かすか、リモコンのデジタルズームイン/アウトキーを使用します。最初の場所に投写した画像が最大サイズになります。
2. OK を押して画像の位置調整機能に切り替えます。リモコンの矢印キーまたはプロジェクターのジョイスティックを使って画像を動かします。画面の指示にしたがって、デジタルズームと画像の位置調整を切り替えます。
3. **←** を押して変更内容を保存し、終了します。

ヒント

メニューにアクセスするには、**⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > 画像補正 > ズームとシフト**を選択します。

画像回転

部屋のレイアウトに合わせてたり、ベッドに横になってリラックスした状態でスクリーンを見るには、画像回転機能を使用します。

1. **⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > 画像補正 > 画像回転**を選択します。
2. 画面の指示に従って画像を回転させます。

3. ← を押して変更内容を保存し、終了します。または OK を押したままにするとリセットされます。

天井投写

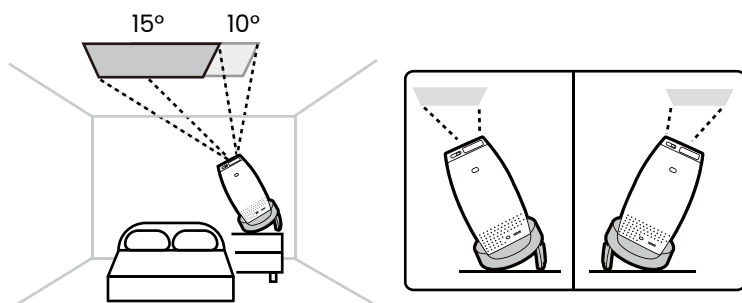
「[投写角度の調整](#)」に記載されている手順にしたがって、天井に画像を投写できるように調整します。

より詳しく投写を調整するには、スクリーン調整機能を使用します。

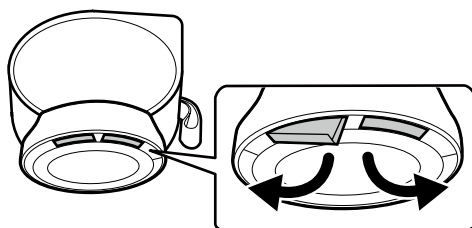
- ・「[投写サイズおよび位置調整（デジタルズームと画像シフト）](#)」
- ・「[画像回転](#)」

横投写のための調整

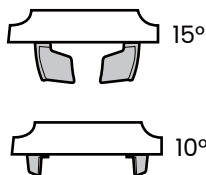
ベースが傾くように設計されていますので、ベッドサイドのテーブルにプロジェクターを配置して画像を天井に投写することができます。この機能は、ベッドで映画を楽しみたいときに便利です。



1. プロジェクターの底に格納されている調整用脚を引き出してください。



2. 2種類の調整角度がありますので、適切な角度になるように調整用脚を調整します。テーブルの上にベースとプロジェクターをそっと置いて、角度を確認します。



ヒント

寝室にプロジェクターを設置するための調整については、[51 ページ](#)の「寝室で映画を観賞する」を参照してください。


画面の輝度を調整する

⚙️ > All settings (すべての設定) > ディスプレイと音 > 画像 > 輝度を選択します。

項目	説明	最大輝度
自動	電圧を検出し、スクリーンの輝度を調整します。たとえば、電源アダプタを接続した場合はスクリーンの最大輝度はデフォルトで 100% になります。輝度は、 ECO または カスタム で下げることができます。	
	• 付属のアダプタ	100%
	• 内蔵バッテリー	70%
	• バッテリー残量が 20% 以下の内蔵バッテリー	20%
	• 45W (20V-2.25A) から 65W (20V-3.25A) までの範囲の USB Type-C を使用した場合のパワーバンク / 電源アダプタ	20%
• 65W (20V-3.25A) 以上の USB Type-C を使用した場合のパワーバンク / 電源アダプタ	100%	
ECO	現在の最大輝度が 80% に低減されます。	
カスタム	10 段階の輝度レベルが用意されていますので、現在の最大輝度を適切なレベルまで下げることができます。	


スマートアイプロテクションを有効にする

投写レンズの前 2 m の範囲に物体 / 人が検出された場合、スクリーンの輝度が暗くなります。

この機能を自動的に有効にするには、 > **All settings (すべての設定)** > **プロジェクター** > **詳細設定** > **スマートアイプロテクション** を選択します。

入力源の変更

デフォルトにより、電源を入れるとプロジェクターは Google TV ホームスクリーンを開きます。

プロジェクターの入力ポートにデバイスを接続します。リモコンの入力キー  を押して入力メニューから入力源を選択します。

または、リモコンのホームボタン  を押すと、いつでも Google TV ホーム画面に戻ることができます。


注意

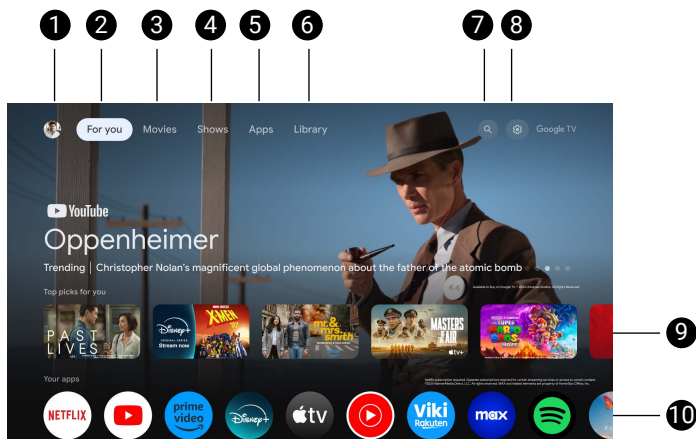
1 つの USB フラッシュドライブは入力源とはみなされません。USB フラッシュドライブからファイルを再生するには、[59 ページの「USB フラッシュドライブからマルチメディアファイルを再生する」](#) を参照してください。

ストリーミングビデオを見る

プロジェクターが無線ネットワークに接続され、Google アカウントにサインインしていることを確認してください。

Google TV ホーム画面

初めて起動するとき、またはリモコンの  キーを押すと、Google TV のホーム画面が表示されます。



注意

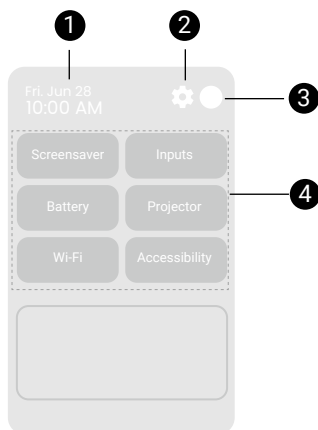
実際のスクリーンと機能は、国 / 地域によって異なります。

番号	項目	説明
①	プロフィール	サインインしたプロフィールです。
②	おすすめ	ホーム画面が開きます。
③	映画	さまざまな映画をブラウズできます。
④	番組	さまざまなショーをブラウズできます。
⑤	アプリ	新しいアプリをダウンロードするか、インストールしたアプリにアクセスします。
⑥	ライブラリ	個人化したウォッチリストにアクセスします。
⑦	検索	検索するテキストを入力できます。

番号	項目	説明
⑧	ダッシュボード	設定メニューや特定の機能（詳細は 48 ページを参照してください ）にクイックアクセスできます。
⑨	おすすめ	個人化されたおすすめの中から映画やショーを見つけることができます。
⑩	Your Apps（あなたのアプリ）	インストールされたアプリを参照します。

ダッシュボード

特定の機能や設定にクイックアクセスするには、サイドパネルのダッシュボードを使用できます。



番号	項目	説明
①	システム時間	現在の時間を表示します。
②	Settings（設定）	設定メニューが開きます。
③	プロファイル	別のユーザープロファイルに切り替えます。
④	デフォルトの頻繁に使用するメニュー	頻繁に使用するメニュー / 機能にアクセスします。

注意

実際のスクリーンはネットワークの有無と、Google TV バージョンにより変わります。仕様は予告なしに変更されることがあります。

ビデオストリーミングに適した画像モードを選択する

画像モードでは、さまざまなシーンに対応した画像モードを用意しています。**⚙️ > All settings (すべての設定) > ディスプレイと音 > 画像**を選択してオプションを選択します。通常、映画鑑賞には**シネマ**がおすすめです。設定できるオプションは、コンテンツにより異なります。HDR & HLG コンテンツがある場合は、**画像**の一部のオプションでHDR & HLG コンテンツがサポートされます。

標準の画像モードと比較して、HDR モードは輝度と色のコントラストを高くしたハイダイナミックレンジ効果を実現します。

オプション	説明
鮮やか / HDR- 鮮やか	このモードは彩度は明るく、またシャープに調整して、シネマモードよりもやや明るいいため、ストリーミングコンテンツを鑑賞するのに適しています。
シネマ / HDR- シネマ	忠実な色再現とコントラストを実現するこのモードは、映画鑑賞に適しています。
Night Shift/ HDR-Night Shift	スクリーンの色をより暖かい色温度に調整して、目の疲れを軽減させます。このモードは、暗めの部屋で就寝前の映画を楽しむために最適化されています。
ゲーム / HDR- ゲーム	パーティーゲームを楽しむのに適した画像設定です。このモードは、敵が隠れられないように暗いシーンの詳細を向上させます。 注意 入力源がHDMI/USB Type-Cであり、このモードが選択されている場合は、2つのオプションから選択できます。 • Game Standard (ゲーム標準) /HDR-Game Standard (HDR-ゲーム標準) • Game Boost (ゲームブースト) /HDR-Game Boost (HDR-ゲームブースト) ゲーミング体験を向上させるために、 Game Boost (ゲームブースト) / HDR-Game Boost (HDR-ゲームブースト) を選択してください。この場合はすべての画像補正設定が初期値に戻され、遅延が非常に低いレベル(1080P 60Hz のとき 22.4 ms) まで低減されます。
明	画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、プロジェクターでも最高に明るいモードです。
HLG	微調整した色 / シャープネス / コントラスト設定により、HLG 互換の映画に合わせて最適化されています。

オプション	説明
カスタム / HDR- カスタム / HLG- カスタム	環境と目的に応じて色設定をカスタマイズします。

壁の色に合わせて画像の色を設定する

色付きの壁に画像を投写する場合、色がより忠実に再現できるように画像の色を調整します。**⚙️ > All settings (すべての設定) > ディスプレイと音 > 画像 > 上級者向け設定 > 壁の色**を選択してオプションを選択します。

ビデオストリーミングに適したサウンドモードを選択する

一般的には、**サウンドモード**からシーンに応じたサウンドモードを選択することができます。**⚙️ > All settings (すべての設定) > ディスプレイと音 > 音**を選択してオプションを選択します。通常、映画鑑賞には**シネマ**がおすすめです。

オプション	説明
シネマ	このモードは、BGM と映画の効果音のバランスを取り、特に銃声や銃撃戦などのアクションシーンでステレオ低音効果を発揮します。そのため、シリアスなドラマやミュージカル、コメディなど、さまざまなタイプの映画に適したモードです。
天井シネマ	このモードは、就寝前の映画観賞に適しています。天井に投写する場合は、高周波数と低周波数のバランスを取るよう調整されます。ベッドに横になり、低い位置でオーディオを楽しむとき、サウンド効果を高めるためにシネマティックバスのレベルも上がります。
音楽	このモードは、ポップス、ロック、ジャズなど、さまざまなジャンルのコンサートやライブ会場において、楽器の音色、シンフォニーのリズム、歌手のソロを十分に表現するために、低・中・高のトータルバランスを重視しています。臨場感や音場感を再現するために、このモードは、特にリズム楽器のビート感やステレオ音場感、歌手の生々しさを強調しています。

オプション	説明
ゲーム	このモードは位置や空間的なダイナミズムを強調するだけでなく、サウンドの指向性も向上させます。

寝室で映画を観賞する

横になって就寝前の映画を楽しめるように、天井に映像を投写することができます。

「天井投写」に記載されている手順にしたがって安らげる場所を作り、スリープタイマーを使ってプロジェクターが自動的にネットワーク化されたスタンバイモードに入るように設定してください。

状況に最も合った画像とオーディオモードに変更します。

- ・ 画像モード：⚙️ > **All settings (すべての設定)** > **ディスプレイと音 > 画像 > Night Shift**
- ・ オーディオモード：⚙️ > **All settings (すべての設定)** > **ディスプレイと音 > 音 > 天井シネマ**

スリープタイマーの設定

設定した時間が経過した後、プロジェクターを自動的にネットワーク化されたスタンバイモードに切り替えるように設定します。

1. プロジェクターの ⌚️ キーを押すとタイマーを設定できます。
2. 時間を選択し、OK キーで確定します。
3. ← を押して変更内容を保存し、終了します。スリープタイマーを設定すると、⌚️ キーが緑色に点灯します。

設定したスリープタイマーが1回だけ有効になります。必要な場合は、毎回タイマーを設定してください。

注意

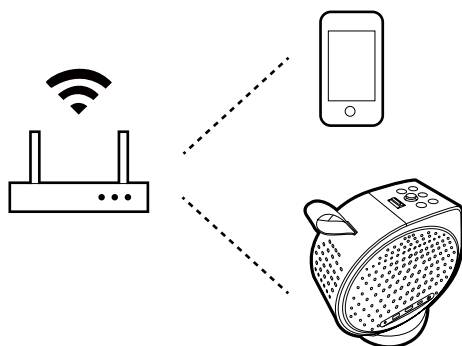
- ・ プロジェクターがスタンバイモードのとき、🔌 キーを押すとプロジェクターが標準モードに戻ります。
- ・ タイマーを無効にするには、再度 ⌚️ キーを押して**オフ**を選択します。
- ・ その他の電源オプションについては、[35 ページの「電源設定と省電力のオプション」](#)をお読みください。

投写

無線投写（画面キャスト）

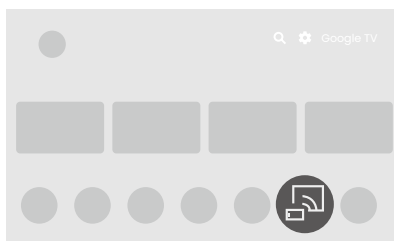
モバイルデバイス、タブレット、コンピュータからプロジェクターに画面キャストするには、両方の機器が同じ無線ネットワークに接続されていることを確認してください。

モバイルデバイスによって、手順とオプションが異なります。指示に従ってください。



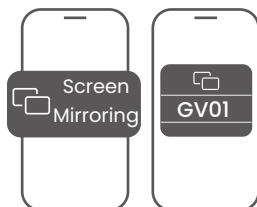
iOS/macOS デバイスからの画面キャスト

1. **⚙️ > All settings（すべての設定） > プロジェクター > 詳細設定 > Screen Sharing for iOS** を選択して、**Screen Sharing for iOS** アプリをインストールし、起動してください。
1. プロジェクターの Google TV ホーム画面から**アプリ**を開き、**Screen Sharing for iOS** アプリを起動します。



2. 画面の指示に従って、アクセス権を取得してください。
3. モバイルデバイスとプロジェクターが同じ無線ネットワークに接続されていることを確認してください。

4. iOS/macOS デバイスから画面のミラー機能を有効にします。デバイスリストから **GV01**（プロジェクターの既定のデバイス名）を選択します。名前を変更した場合は、デバイスリストから新しい名前を探してください。



ヒント

一部のストリーミングアプリは縦画面しか使用できず、横方向投写では画面全体を投写できない場合があります。iOS/MacOS デバイスをキャストするには、左 / 右キーを押すとスクリーンを回転させることができます。

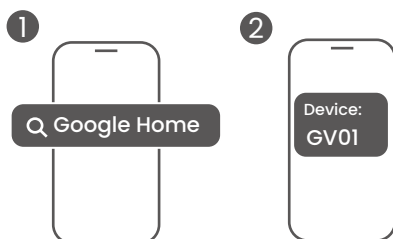
Google Cast™ で Android™ OS デバイスから画面をキャストする

1. モバイルデバイスとプロジェクターが同じ無線ネットワークに接続されていることを確認してください。
2. モバイルデバイスで Google Cast が有効のアプリを開きます。
3. モバイルデバイスからプロジェクターにキャストしたいコンテンツを選択します。
4. モバイルデバイスでキャストアイコン (📺) をタップして、キャストしたいデバイスとして **GV01**（プロジェクターの既定の名前）を選択します。

Google Home で Android OS デバイスから画面をキャストする

1. モバイルデバイスとプロジェクターが同じ無線ネットワークに接続されていることを確認してください。
2. モバイルデバイスで **Google Play** を開きます。 **Google Home** アプリをインストールして起動します。

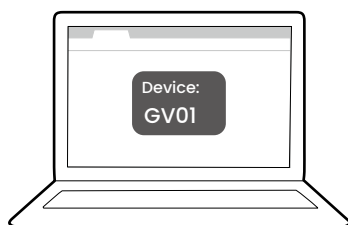
3. 画面の指示に従って処理に従ってください。キャスト機器として **GV01**（プロジェクターの既定の名前）を **Google Home** から選択し、モバイルデバイスから画面のミラー化機能を有効にします。名前を変更した場合は、デバイスリストから新しい名前を探してください。



Google Cast で PC デバイスから画面をキャストする

1. コンピュータとプロジェクターが同じ無線ネットワークに接続されていることを確認してください。
2. コンピュータのブラウザ（Chrome など）から画面のミラー機能（キャスト）を有効にします。名前と画面のミラー機能にアクセスできるかどうかは、プログラムにより異なります。プロジェクターの名前は、デフォルトで **GV01** となっています。名前を変更した場合は、デバイスリストから新しい名前を探してください。

Windows






有線投写

HDMI または認証された USB Type-C 3.0 ケーブルを使用することで、HDMI または DP 代替モード機能を搭載したデバイスを接続することができます。動画や画像をプロジェクターに投写できます。

注意

USB Type-C ポートを備えたすべてのデバイスが DP 代替モードに対応しているわけではありません。デバイスの仕様書をご確認ください。

1. 認証されたケーブルを使って、デバイスをプロジェクターの HDMI または USB Type-C ポートに接続します。
2. 入力キー  を押して、入力メニューで相当するポートを選択します。
3. 入力メニューを使用するか、ホームボタン  を押すと、Google TV ホーム画面に戻ります。
4. デバイスを接続したままにするか、映像を再度投写したい場合は、入力ボタン  を押して、入力メニューで相当するポートを選択します。

注意

- 一部のコンピュータにはオーディオを転送できない HDMI ポートが装備されています。その場合、別のオーディオケーブルをプロジェクターに接続する必要があります。
- 多くのノートパソコンでは、プロジェクターを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常 Fn + F3 や CRT/LCD キーなどを使用すると、外部表示のオン / オフを切り替えることができます。ノートパソコン上で CRT/LCD と記された機能キーか、モニターの記号が表示された機能キーの位置を確認してください。Fn と記号が記された機能キーを同時に押します。ノートパソコンのキーの組み合わせについては、ノートパソコンの説明書をお読みください。

ヒント

本機は USB Type-C ポートからビデオ / オーディオ転送や配電機能を備えています。この機能を活用すると、他のドックを使用しなくてもゲーム中にゲーミングコンソール（USB Type-C ビデオ出力）を直接充電することができます。詳細は、[60 ページの「USB Type-C デバイスへの給電」](#)を参照してください。

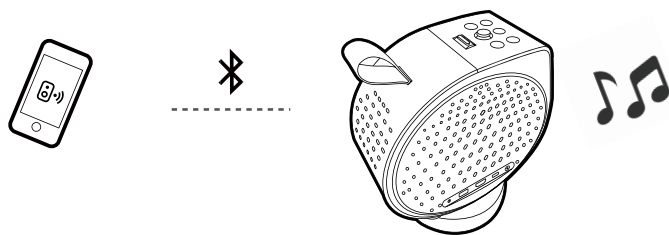
プロジェクターを使って音楽を聴く

内蔵スピーカーを使うと、投写スクリーンは写さずに、プロジェクターで音楽を楽しむことができます。本機は普通のスピーカーとして、またはワイヤレススピーカーとしてお使いいただけます。

プロジェクターを Bluetooth スピーカーとして使用する

入力源が Google TV の場合にのみ使用できます。

1. **⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター > Bluetooth スピーカーモード**を選択し、プロジェクターの Bluetooth 機能を有効にします。スクリーンがオフになります。
2. デバイスの Bluetooth 機器も有効にします。ペアリングするデバイスリストから GV01 (プロジェクターの既定の名前) を選択します。名前を変更した場合は、デバイスリストから新しい名前を探してください。
3. ペアリングに成功したら、デバイスからプロジェクターにオーディオを出力できます。
4. プロジェクターから音楽再生を停止して、Bluetooth 接続を解除するには、どれかのキーを押しながら、**← ボタン**を押し続けます。



注意

プロジェクターは、直前にペアリングされていたデバイスとの自動再接続に対応しません。ペアリングしたデバイスに再接続する、または別のデバイスと接続するには、上記の手順を繰り返してください。

プロジェクターを外付け Bluetooth スピーカー / ヘッドフォンに接続する


入力源が Google TV の場合にのみ使用できます。

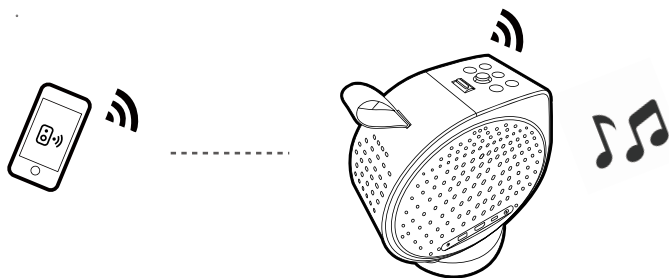
1. プロジェクターで **⚙️ > All settings (すべての設定) > リモコンとアクセサリ > アクセサリのペア設定** を選択します。
2. スピーカーまたはヘッドフォンの Bluetooth ペ어링モードを有効にします。
3. デバイスリストからスピーカーまたはヘッドフォンを選択します。
4. **ペア設定する** を選択します。
5. プロジェクターとスピーカー / ヘッドフォンを接続した後は、プロジェクターからスピーカー / ヘッドフォンへオーディオを出力できるようになります。

注意

プロジェクターは、直前にペ어링されていたデバイスとの自動再接続に対応しません。ペ어링したデバイスに再接続する、または別のデバイスと接続するには、上記の手順を繰り返してください。


プロジェクターをワイヤレススピーカーとして使用する

1. プロジェクターの電源を入れる (33 ページの「[電源を入れて初期設定を行う](#)」を参照してください)。
2. モバイルデバイスとプロジェクターが同じ無線ネットワークに接続されていることを確認してください。
3. [52 ページの「無線投写 \(画面キャスト\)」](#) の手順にしたがって、モバイルデバイスからプロジェクターにオーディオをキャストします。
4. リモコンの  を 2 秒間押して、オーディオのみモードを有効にします。詳細は、「[音楽を再生中に映像を非表示 \(消画\) にする](#)」を参照してください。
5. モバイルデバイスでミュージックアプリを起動し、「[無線投写 \(画面キャスト\)](#)」の指示にしたがって Google Cast からキャスト機能を使用します。キャスト機器として GV01 を検出し、音楽のストーリーミングをお楽しみください。




音楽を再生中に映像を非表示（消画）にする

投写スクリーンは写さずに、プロジェクターで音楽を楽しむことができます。

リモコンの  ボタンを押したままにして、プロジェクターをオーディオのみモードに切り替えます。音楽を再生している間は、スクリーンはオフになります。

投写画面がなくても音量調節キーを使うと音量を調整できます。

再生を中止したり、他の操作をするには、電源、プロジェクター補助キー ()、音量調節キー以外のリモコンのキーをどれでも押すと投写画面が表示されます。

USB フラッシュドライブからマルチメディアファイルを再生する

メディアリーダー アプリが必要です。USB フラッシュドライブからファイルにアクセスする前にインストールしておいてください。

USB フラッシュドライブに保存されているメディアファイルを再生するには、正しく接続を行い設定する必要があります。

1. USB フラッシュドライブをプロジェクターの USB Type-A / USB Type-C ポートに接続します。
2. USB ストレージデバイスが検出されると指示が表示されます。画面の指示に処理に従ってください。ホーム画面で**アプリ** > 「メディアプレーヤー」を選択し、アプリをダウンロードします。
3. プロジェクターでメディアリーダーアプリを起動して、USB フラッシュドライブに保存されているマルチメディアファイルを探します。再生可能なファイル形式は、アプリによって異なります。

注意

対応する USB フラッシュデバイスのフォーマット：NTFS、FAT、FAT32。

USB Type-C デバイスへの給電

プロジェクターが付属の電源アダプタで給電されている場合にのみ使用できます。

給電機能を活用すると、プロジェクターは接続した USB-IF 認証の USB Type-C デバイスに給電することができます。

サポートされる USB Type-C 給電：

- 5V/2A
- 9V/2A
- 12V/1.5A
- 15V/1.2A

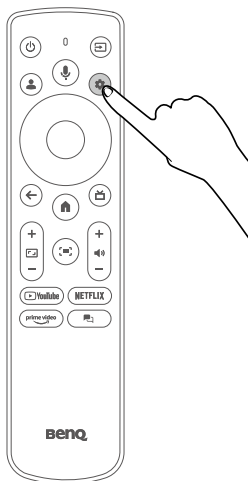
USB Type-C 給電についてのご注意

- この情報は標準の試験条件に基づいており、参照用として提供されるものです。ユーザー環境はそれぞれ異なるため、互換性は必ずしも保証されるものではありません。別売りの USB Type-C ケーブルを使用する場合は、ケーブルが USB-IF 認証のものであり、給電機能が備わっていることを確認してください。
- 接続する機器には、USB 給電によって充電できる USB Type-C コネクタが装備されていなければなりません。
- 接続したデバイスが稼働やブートアップするために、プロジェクターが供給できる以上の電力を必要とする場合は（バッテリーが切れている場合）、機器に付属していた元の電源アダプタをお使いください。

メニューを見る

プロジェクターで各種調整や設定を行えるように、設定メニューがあります。メニューにアクセスするには、**⚙️ > All settings (すべての設定)** を選択します。

実際のメニューとオプションは、国 / 地域によって異なります。プロジェクターの設定に関連するメニューがいくつかあります。メニューおよびオプションについての詳細は、<https://tv.google/> をご覧ください。



デバイス名の設定

プロジェクターの名前は自由に変更できます。

プロジェクター

⚙️ > All settings (すべての設定) > プロジェクター

項目	操作と説明
フォーカス	自動または手動でフォーカスを調整するかどうかを決定します。

項目	操作と説明
画像補正	台形補正を正しく設定して、画面に合わせます。
	自動台形補正 自動的に台形補正を行います。41 ページの「 台形補正 」を参照してください。
	手動台形補正 手動で台形補正を行います。41 ページの「 台形補正 」を参照してください。
	自動スクリーンフィット 画面に映像を合わせます。42 ページの「 スクリーンに合わせる 」を参照してください。
	ズームとシフト 映像をリサイズまたはシフトします。43 ページの「 投写サイズおよび位置調整（デジタルズームと画像シフト） 」を参照してください。
	画像回転 表示角度に合わせて映像を回転させます。43 ページの「 画像回転 」を参照してください。
	初期設定の画像に戻す 画像調整をリセットします。
	詳細 自動的に映像を調整します。
Bluetooth スピーカーモード	プロジェクターの Bluetooth スピーカーモードを有効にします。56 ページの「 プロジェクターを Bluetooth スピーカーとして使用する 」および 57 ページの「 プロジェクターを外付け Bluetooth スピーカー / ヘッドフォンに接続する 」を参照してください。

項目	操作と説明
詳細設定	<p>プロジェクターの詳細機能にアクセスします。</p>
	<p>Screen Sharing for iOS iOS/macOS デバイスから画面をキャストするための Screen Sharing for iOS アプリをインストールし、起動します。52 ページの「iOS/macOS デバイスからの画面キャスト」を参照してください。</p>
	<p>スマートアイプロテクション 投写レンズの近くで人が検出されると、目を保護するために画像の輝度が下げられます。46 ページの「スマートアイプロテクションを有効にする」を参照してください。</p>
	<p>プロジェクションモード プロジェクターを設置する場所を決定します。27 ページの「設置場所の選択」を参照してください。</p>
	<p>リモコン リモコンの電池の残量やファームウェアのアップグレードなど、リモコンの情報を見ることができます。</p>
	<p>キャッシュを消去 プロジェクターの性能を高めるために、メモリスペースを開放するのに役に立ちます。</p>

ディスプレイと音

⚙️ > All settings (すべての設定) > ディスプレイと音

項目	操作と説明
画像	画像設定を調整します。
	輝度 画面の輝度を調整します。45 ページの「画面の輝度を調整する」を参照してください。
	画像モード コンテンツに合った画像モードを設定します。49 ページの「ビデオストリーミングに適した画像モードを選択する」を参照してください。
	上級者向け設定 画質を高めるために設定を調整します。
	デフォルト設定に戻す 画像設定を初期値に戻します。
音	コンテンツに合ったサウンドモードを設定します。50 ページの「ビデオストリーミングに適したサウンドモードを選択する」を参照してください。
オーディオ出力	HDMI ポートに接続したソース機器からオーディオフォーマットと出力遅延を選択します。 デジタル出力の設定が 自動 のとき、プロジェクターは入力コンテンツの形式を自動的に検出し、オーディオ形式を設定します。

ネットワークとインターネット

⚙️ > All settings (すべての設定) > ネットワークとインターネット
ネットワーク接続を構成します。無線接続を有効または無効にできます。

アカウントとログイン

⚙️ > All settings (すべての設定) > アカウントとログイン
アカウントの管理。

プライバシー

⚙️ > All settings (すべての設定) > プライバシー
プライバシー設定を管理。

アプリ

⚙️ > All settings (すべての設定) > アプリ
インストールされているアプリを管理。

System (システム)

⚙️ > All settings (すべての設定) > System (システム)
デバイス設定にアクセス。

リモコンとアクセサリ

⚙️ > All settings (すべての設定) > リモコンとアクセサリ
Bluetooth を使用してリモコンと手動でペアリングできます。またはペア
化したデバイスを管理します。

メンテナンス

プロジェクターのお手入れ

ご使用のプロジェクターはほとんどメンテナンスの必要がありません。レンズを清潔に保つために、定期的なレンズのお手入れだけが必要です。プロジェクターのパーツは絶対に取り外さないでください。プロジェクターが正常に作動しなくなった場合は、販売店かサポートセンターへお問い合わせください。

レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。レンズのお手入れを開始する前に、プロジェクターをオフにして完全に冷却してください。

- エアダスターを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズ クリーニング ペーパーまたはレンズ クリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- 研磨用パッド、アルカリ性 / 酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを付着させたままの状態にしておくと、プロジェクターの表面やキャビネットの素材が劣化する場合があります。

注意

ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。

プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する必要がある場合、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクターの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、[71 ページの「仕様」](#)を参照するか、販売店にお尋ねください。
- 調整用フット / キックスタンド（該当する場合）を収納してください。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを元の梱包または同等の梱包に入れます。

プロジェクターの移動

プロジェクターを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

光源情報

ライトの資料時間を確認するには、 > **All settings (すべての設定)** > **プロジェクター** > **詳細設定** > **詳細** > **光源情報**を選択します。

問題を解決する

? LED インジケータが点滅している。

シナリオ	LED の状態
ドライバボード エラー	赤 / 青く点滅
ファンエラー	緑 / 青く点滅
光学エンジン温度エラー	赤く点滅
ToF エラー	赤 / 緑に点滅
電池の製造元	紫で点滅
G センサー エラー	赤 / 青 / 緑に点滅

カスタマーサービスにお問合せください。


注意

電源 LED インジケータの詳細については、[34 ページの「電源 LED インジケータ」](#) をお読みください。

? プロジェクターの電源がオンにならない。

可能性のある原因	対応
電源コードから電源が来ていません。	電源コードがプロジェクターの AC 電源ジャックとコンセントに正しく挿入されていることを確認してください。また、コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認してください。
冷却プロセスの間にプロジェクターの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。

? 画像が映らない。

可能性のある原因	対応
ビデオ入力がないか、正しく接続されていません。	<ul style="list-style-type: none">ビデオ入力为正しく接続されていることを確認してください。プロジェクターがオーディオのみ、またはネットワークで接続されたスタンバイモード。電源キーを押すと無効になります。
プロジェクターが正しく入力信号デバイスに接続されていません。	接続を確認します。
入力信号が正しく選択されていません。	 キーを使って正しい入力信号を選択してください。

? 画像がぼやけます。

可能性のある原因	対応
投写レンズの焦点が合っていない。	レンズの焦点を調整してください。 40 ページの「画像の明瞭さの微調整」 を参照してください。
プロジェクターとスクリーンの位置が正しく合っていない。	投写角度および方向、また必要であればプロジェクターの高さを調整します。
自動縦キーストーン機能が作動しない。	投写角度を調整してください。
ToF センサーが汚れています。	清潔なクロスでセンサーをやさしく拭きます。 ホコリや指紋を除去します。

? リモコンが機能しない。

可能性のある原因	対応
電池が切れています。	新しい電池に交換してください。
リモコンとプロジェクターの間に障害物があります。	障害物を取り除いてください。
プロジェクターからの距離が遠すぎます。	プロジェクターから 8 メートル (26 フィート) 以内の場所で操作してください。

? 画面の輝度調整。

可能性のある原因	対応
画面の明るさが期待通りではありません。	<ul style="list-style-type: none">・ スクリーンの輝度は、電気コンセントに接続した後で変化します。詳細は、45 ページの「画面の輝度を調整する」を参照してください。 光源の輝度を最高レベルにするには、付属の電源アダプタを使用するか、65W 以上の USB Type-C 電源に接続します。・ バッテリーの残量が少なくなると、輝度も暗くなります。内蔵バッテリーから給電する場合は、⚙️ > バッテリーからバッテリーの残量を確認できます。

仕様

プロジェクターの仕様

カテゴリー	項目	説明
表示	輝度 (ANSI ルーメン)	500
	ネイティブ解像度	1080P (1920x1080)
	ネイティブ アスペクト比	16:9
	コントラスト比 (FOFO)	100,000:1
	画面の色数	24 ビット (16.7 百万色)
	光源	レーザー
	光源の寿命	エコ：30000 時間 ノーマルモード：20000 時間
光学仕様	投写比	1.2
	ズーム倍率	固定
	レンズ	F/#=1.9、f=19.65mm
	投写オフセット (最も高くした場合)	100%
	台形補正	2D、(自動) 垂直 ±20 度、水平 ±30 度、 回転 ±30 度 (壁までの距離：2M 以内)、 2D、(手動) 垂直および水平および回転 ±40 度
鮮明な画像サイズ	30-120 インチ	
画像	Rec. 709 カバー範囲	92%
互換性	入力遅延	22.4ms (1080p@60Hz)
	解像度サポート	VGA (640 x 480) から 4K UHD (3840 x 2160)
	水平周波数	15K - 135KHz
	垂直周波数	22 - 62Hz
	HDTV 互換	480p、576p、720p、1080p
I/O インターフェイス	HDMI 入力	(x1) HDMI-1 (2.0b/HDCP2.3)
	USB Type-A	(x1) USB Type A-1 (2.0/ 電源 1.0A/ リーダー / ファームウェアアップデート)
	USB Type-C	(x1) Display Port/PD 入力 20V-2.25A から 5A/ PD 出力 5V-2A、9V-2A、12V-1.5A、 15V1.2A*/ リーダー
	オーディオ	スピーカー
	オーディオ出力 (3.5 mm ミニジ ャック)	(x1)
	HDMI オーディオリターン	ARC、5.1 チャンネル
	ウーファー	10W チェンバー

カテゴリー	項目	説明
環境	電源	AC 100 - 240 V、50/60 Hz
	標準消費電力	85W@100 - 240VAC
	ネットワーク接続時の消費電力	2W/0.3W
	運転音（標準 / エコ）(dB)	28dBA/26dBA
	動作温度範囲	0 - 40° C
	保管温度	-20 - 60° C（結露なきこと）
	動作相対湿度範囲	10 - 90%RH（結露なきこと）
	保管相対湿度	10 - 90%RH（結露なきこと）
バッテリー	バッテリーの種類	リチウムイオンバッテリー
	バッテリー寿命	ビデオ再生時間：約 150 分 音楽再生時間：約 300 分
	充電回数	500 回
機械的機能	投写角度（ポータブルのみ）	天井投写用に 135° 垂直 /360° 水平 / 10° -15° 傾斜
スマート機能	Bluetooth	Bluetooth 5.0
	Wi-Fi 規格	802.11 a/b/g/n/ac (2.4G/5G)
寸法と重量	本体重量 (kg)	2.1 kg
	本体重量 (lb)	4.6lb
	寸法（横 x 高さ x 長さ）(mm)	130.0（横） x 211.2（高さ） x 191.4（長さ）
	寸法（横 x 高さ x 長さ） （インチ）	5.12（横） x 8.31（高さ） x 7.54（長さ）
投写システム	投写システム	DLP
	DMD サイズ	0.23" Pico

注意

- Wi-Fi および Bluetooth の性能は、距離と障害物の有無により変わります。
- バッテリーの寿命は、再生するコンテンツ、メディア入力、プロジェクターの設定によって異なります。
- *：PD 出力は、付属の電源アダプタでプロジェクターが給電されている場合にのみご使用いただけます。

電源アダプタについて

付属の電源アダプタ（外付け給電装置）の技術情報：

製品名：AC アダプタ

製造元モデル：NSA90ED-19047401

最大レーティング：90W（19V、4.74A）

製造元：

Shenzhen JingQuanHua&Everrise Intelligent Electric Co., Ltd

タイミングチャート

解像度	モード	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
640 x 480	VGA_60	59.94	31.469	25.175
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45	74.25
1280 x 768	1280 x 768_60	59.87	47.776	79.5
1280 x 800	WXGA_60	59.81	49.702	83.5
1280 x 1024	SXGA_60	60.02	63.981	108
1280 x 960	1280 x 960_60	60	60	108
1440 x 900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.5
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.75
1600 x 1200	UXGA	60	75	162
1680 x 1050	1680 x 1050_60	59.954	65.29	146.25
1920x1080@60HZ	1920 x 1080_60 (CEA-861)	60	67.5	148.5
1920X1080(VESA)	1920 x 1080_60 (劇場モデル用)	59.963	67.158	173
2560x1440@60HZ	2560X1440_60	59.951	88.787	241.5
2560x1600 (VESA)	2560X1600_60	59.987	99.458	348.5
3840x2160	3840x2160_30 (4K/2K モデル)	30	67.5	297
3840x2160	3840x2160_60 (4K/2K モデル)	60	135	594

注意

- 代替モード用の USB Type-C ポートは、最大 1920X1080@60Hz まで対応できます。
- 内部 HDMI ポートに接続された入力源に対し、すべてのタイミングが有効とは限りません。選択可能なオプションについては、74 ページの「ビデオ タイミング」をお読みください。

ビデオ タイミング

タイミング	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
576p	720 x 576	31.25	50	27
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25
720/60p	1280 x 720	45	60	74.25
1080/24P	1920 x 1080	27	24	74.25
1080/25P	1920 x 1080	28.13	25	74.25
1080/30P	1920 x 1080	33.75	30	74.25
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50	148.5
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60	148.5
2160/24P	3840 x 2160	54	24	297
2160/25P	3840 x 2160	56.25	25	297
2160/30P	3840 x 2160	67.5	30	297
2160/50P	3840 x 2160	112.5	50	594
2160/60P	3840 x 2160	135	60	594

注意

- ・代替モード用の USB Type-C ポートは、最大 1920X1080@60Hz まで対応できます。
- ・内部 HDMI ポートに接続されている入力源は、* マークが付いたタイミングにのみ対応しています。

対応ファイル形式

ビデオ

MPEG-2 ビデオデコーダー

ISO/IEC 11172-2 MPEG-1 ビデオフォーマットでデコード

ISO/IEC 13818-2 MPEG-2 ビデオ MP@HL および HD レベル

最大 HDTV (1080p60、1080i、720p) および SDTV までの解像度に対応

3D コンテンツのデュアルストリーム デコードに対応

FHDp60 2x 高速早送り再生に対応

MPEG-4 ビデオデコーダー

最大 HD レベルまでの ISO/IEC 14496-2 MPEG-4 ASP ビデオデコード
最大 HDTV (1080p@60fps) までの解像度に対応
FLV バージョン 1 ビデオフォーマットでデコード
3D コンテンツのデュアルストリーム デコードに対応

H.264 デコーダー

ITU-T H.264、ISO/IEC 14496-10 (最大レベル 5.2 のメインプロファイル
および高プロファイル) ビデオデコード
最大 4096x2160@60fps までの解像度に対応
最大 135Mbps のビットレートに対応
DVB、ATSC、HDTV、DVD、VCD すべての解像度に対応
SVAIF 2ES (デュアルデコード用) に対応
最大 1080p@60fps の MVC 3D デコードに対応

VP8 デコーダー

VP8 デコーダーに対応
最大 1920x1080@60fps までの解像度に対応
最大 50Mbps のビットレートに対応

VP9 デコーダー

- VP9 デコーダーに対応
- 4:2:0 サブサンプリングおよび色深度 8 ビット /10 ビットに対応
- 最高解像度およびフレームレート 4096x2160@60fps に対応
- 最大ビットレート 100Mbps まで対応

AV1 ビデオデコーダー

- AV1 ビデオデコードに対応
- メインプロファイル、レベル 5.1 に対応
- 色深度 8 ビット /10 ビットに対応
- 最大 4096x2304@60fps までの解像度に対応
- 最大ビットレート 100Mbps まで対応

HEVC (H.265) デコーダー

- HEVC/H.265 ビデオデコードに対応
- メイン / メイン 10 プロファイル、スケーラブルメイン / スケーラブル
メイン 10 プロファイル、レベル 5.1、高階層

- 色深度 8 ビット /10 ビットに対応
- 最大 4096x2160@75fps までの解像度に対応
- 最大ビットレート 100Mbps まで対応

ハードウェア JPEG デコーダー

- 最大 1920x1080@30fps、1280x720@60fps まで対応
- 対応形式：422/411/420/444/422T
- スケールダウン率に対応：1/2x1/2、1/4x1/4、1/8x1/8
- カラーおよびグレイスケール画像に対応
- シーケンシャルモード、シングルスキャンに対応
- プログラム可能な ROI に対応
- ファイルヘッダーに基づいてハードウェアデコーダーをスキャンし、デコード処理を実行

VC-1 ビデオデコーダー

- 最大 AP@L3 (2048x1024p60) までの SMPTE-421M (VC1 ビデオ) に対応
- 3D コンテンツのデュアルストリーム デコードに対応

NTSC/PAL/SECAM ビデオデコーダー

- NTSC-M、NTSC-J、NTSC-4.43、PAL (B、D、G、H、M、N、I、Nc)、SECAM 規格に対応
- 自動標準検出
- モーションアダプティブ 3D コムフィルター
- CVBS & Y/C S-video 入力に対応
- 文字多重放送および V-chip に対応

オーディオ

多規格対応オーディオプロセッサ

- BTSC/A2 デモジュレーションに対応
- NICAM/FM/AM デモジュレーションに対応
- BTSC モードで MTS モードモノ / ステレオ / SAP に対応
- A2/NICAM モードのモノ / ステレオ / デュアル
- オーディオサンプリングレート変換 (SRC) 内蔵
- 音量、バランス、ミュート、トーン、EQ、仮想ステレオ / サラウンド、高音 / 低音コントロールを含め、ラウドスピーカーチャンネルのオーディオ処理

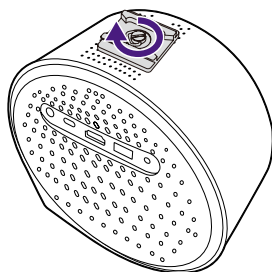
- 次のような高度なサウンド処理オプション：Dolby1、DBX-TV2
- 対応するデジタルオーディオフォーマット：MPEG-1、MPEG-2 (Layer I/II)、MP3、AAC-LC、HE-AAC
- 対応するマルチストリームプログラム：Dolby MS12-Y
- オーディオの説明に対応
- MPEG オーディオの暗号化に対応
- タイムシフト PVR に対応
- オーディオ/ビデオの同期のためにプログラム可能な遅延に対応

付録

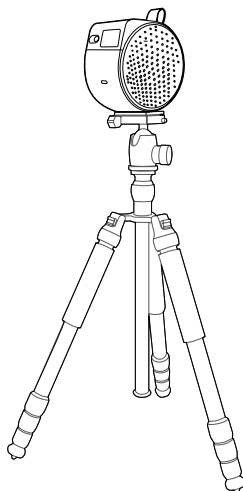
三脚を使う（別売り）

プロジェクターを三脚に取り付けるための穴です。

1. 三脚のクイックリリースプレートをプロジェクターの三脚用穴に設置し、プレートのネジを絞めます。（スクリーンタイプ：1/4"-20）



2. プロジェクターを三脚に装着します。



注意

プロジェクターの底面にある三脚用ネジ穴は、天井取り付け用ではありません。天井にプロジェクターを取り付ける場合は、28ページの「前面天井」および28ページの「背面天井」をお読みください。



BenQ.com

© 2024 BenQ Corporation.
All rights reserved。内容を変更する権利を有します。